

## 参考資料

### 1. 登別市の変遷

登別市は一部が支笏洞爺国立公園に包含されており、登別温泉を抱える北海道有数の観光都市であるとともに、本道で最も進んだ重工業地帯の室蘭工業圏の一翼として発展してきました。

登別市の変遷を次のとおり示します。

#### 登別市の変遷

明治 2 年 (1869 年)	太政官布告により仙台藩白石城主の片倉小十郎邦憲が幌別郡の支配を命ぜられる。
明治 39 年 (1906 年)	幌別鉱山の開発が本格的に進み、金、銀、銅、硫黄の採掘が行われ、硫黄は大正 5 年から大正 8 年にかけて日本一の産出量であった。
大正 8 年 (1919 年)	幌別郡 3 か村（幌別・登別・鷺別）を大字とし、幌別村とする。
昭和 26 年 (1951 年)	町制施行、幌別町とする。
昭和 36 年 (1961 年)	登別町と変更する。
昭和 45 年 (1970 年)	全国で 570 番目、道内で 30 番目に市制を施行する。



## 2. 登別市都市計画マスタープラン改訂の経緯

### ●平成 30 年度（2018 年度）

名称	開催日	数量及び対象参加者	内容
市民アンケート	平成30年（2018年） 10月24日（水） ～11月7日（水）	配布：2,300 票 回収：1,102 票(47.9%)	市内に居住する満 16 歳以上の男女を対象に、市民の暮らしや住まい、今後のまちづくりに関するアンケートを実施。
子どもアンケート	平成30年（2018年） 11月19日（月） ～12月14日（金）	配布：738 票 回収：709 票（96.1%）	市内の小学 5 年生の全児童及び中学 2 年生の全生徒を対象に、市民の暮らしや住まい、今後のまちづくりに関するアンケートを実施。
保護者アンケート	平成30年（2018年） 11月19日（月） ～12月14日（金）	配布：738 票 回収：389 票（52.7%）	「子どもアンケート」対象児童・生徒の保護者に、市民の暮らしや住まい、今後のまちづくりに関するアンケートを実施。
団体ヒアリング	平成31年（2019年） 2月14日（木）	実施先 ・登別商工会議所 ・登別国際観光コンベンション協会 ・登別市連合町内会	現在の暮らしやまちづくりについて感じる現状と課題、登別市のポテンシャルや次世代に向けて目指すべきまちの将来像や今後予定する取組について、意見聴取を実施。
第 1 回 庁内検討委員会 (本会議)	平成 31 年（2019 年） 3月11日（月）	22 名 委員 16 名 職員等 6 名	アンケート調査等の結果について報告及び検討素案について説明・意見聴取を実施。

### ●令和元年度（2019 年度）

名称	開催日	参加者	内容
第 1 回 市民会議	令和元年（2019 年） 8月9日（金）	38 名 委員 24 名 職員等 14 名	登別の住みやすいところ、住みにくいところ、地域の特徴、人口減少や少子高齢化によって困ること等についてワークショップ形式にて意見聴取を実施。
第 2 回 市民会議	令和元年（2019 年） 10月8日（火）	33 名 委員 20 名 職員等 13 名	全体構想（7つのまちづくり方針）について、ワークショップ形式にて意見聴取を実施。
第 1 回 庁内検討委員会 (WG)	令和元年（2019 年） 11月5日（火）	職員等 21 名	全体構想（7つのまちづくり方針）について、ワークショップ形式にて意見聴取を実施。
第 3 回 市民会議	令和元年（2019 年） 11月12日（火）	30 名 委員 15 名 職員等 15 名	全体構想（7つのまちづくり方針）について、ワークショップ形式にて意見聴取を実施。

序章

はじめに

1 章 登別市の概要  
及び現状と課題

2 章

理念と目標

3 章

全体構想

4 章

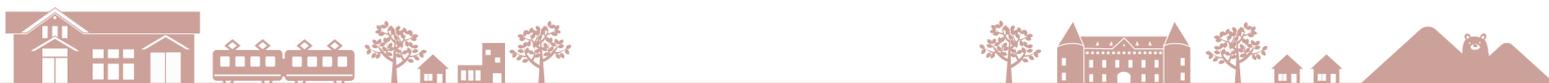
地域別構想

5 章

計画実現に向けて

参考資料

用語解説



## ●令和元年度（2019年度）

名称	開催日	参加者	内容
第2回 庁内検討委員会 (WG)	令和元年（2019年） 11月27日（火）	職員等 16名	地域別構想（4地域）についての議論とワークショップ形式にて意見聴取を実施。
第4回 市民会議	令和元年（2019年） 12月19日（木）	30名 委員 17名 職員等 13名	地域別構想（4地域）についての議論とワークショップ形式にて意見聴取を実施。
第2回 庁内検討委員会 (本会議)	令和2年（2020年） 3月4日（月）	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面にて開催	市民会議、第2回庁内検討委員会（WG）の開催結果の情報提供。 素案について意見聴取を実施。

## ●令和2年度（2020年度）

名称	開催日	参加者	内容
第1回 改訂委員会	令和2年（2020年） 8月4日（火）	23名 委員 16名 職員等 7名	素案について質疑応答、意見聴取を実施。
第3回 庁内検討委員会 (WG)	令和2年（2020年） 9月1日（火）	職員等 19名	素案について質疑応答、意見聴取を実施。
第5回 市民会議	令和2年（2020年） 9月10日（木）	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面にて開催	素案について意見聴取を実施。
第3回 庁内検討委員会 (本会議)	令和2年（2020年） 9月30日（水）	25名 委員 15名 職員等 10名	素案について質疑応答、意見聴取を実施。
第2回 改訂委員会	令和2年（2020年） 10月14日（水）	24名 委員 18名 職員等 6名	意見照会結果等の報告及び素案（更新版）について質疑応答、意見聴取を実施。
第3回 改訂委員会	令和3年（2021年） 3月4日（木）	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面にて開催	北海道協議中間取りまとめの情報提供。 素案について意見聴取を実施。
第6回 市民会議	令和3年（2021年） 3月4日（木）	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面にて開催	素案について意見聴取を実施。



●令和3年度（2021年度）

名称	開催日	参加者	内容
第7回 市民会議	令和3年（2021年） 7月9日（金）	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面にて開催	素案について意見聴取を実施。
第4回 改訂委員会	令和3年（2021年） 9月10日（金）	22名 委員 15名 職員等 7名	北海道協議の結果報告等及び素案（更新版）について質疑応答、意見聴取を実施。
第19回 都市計画審議会	令和3年（2021年） 10月11日（月）	21名 委員 12名 職員等 9名	進捗状況の情報提供。 素案について質疑応答、意見聴取を実施。
第20回 都市計画審議会	令和3年（2021年） 12月13日（月）	20名 委員 11名 職員等 9名	原案について諮問。
パブリックコメント	令和3年（2021年） 12月24日（金）～ 令和4年（2022年） 1月24日（月）	1件の意見（1人）	登別市都市計画マスタープラン（案）に係る意見公募。
第21回 都市計画審議会	令和4年（2022年） 2月25日（金）	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面にて開催	原案について答申。

序章

はじめに

1章 登別市の概要  
及び現況と課題

2章 理念と目標

3章

全体構想

4章

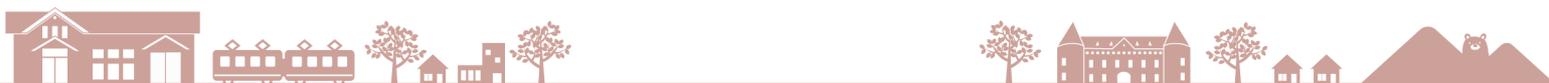
地域別構想

5章

計画実現に向けて

参考資料

用語解説



### 3. 各種会議

#### (1) 市民会議

##### ① 委員数

時点	市民会議委員数
令和元年（2019年）8月時点	計 30 名 市民公募 14 名 市民団体等推薦 16 名
令和2年（2020年）1月末時点	計 31 名 市民公募 17 名 市民団体等推薦 14 名

##### ② 委員が所属する市民団体等一覧

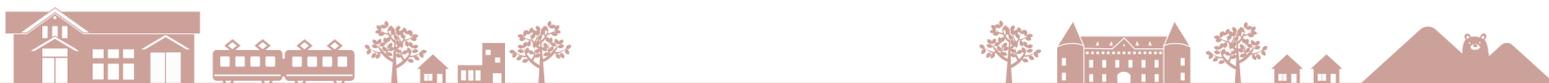
登別市衛生団体連合会、登別商工会議所、登別国際観光コンベンション協会、国際ソロプチミスト登別、モモンガくらぶ、キウシト湿原・登別、登別造園工事業協同組合、登別まちづくり促進期成会、ふるさと驚別を考える会、登別市民憲章推進協議会、登別室蘭青年会議所、登別市社会福祉協議会、登別環づくり市民委員会、登別建設協会



## (2) 改訂委員会

### ① 委員名簿

氏名	所属	設置要綱に基づく 委員の位置づけ	在任 期間	備考
有村 幹治	室蘭工業大学 教授	室蘭工業大学長が推薦する職員	R2-R3	委員長 (R2-R3)
武田 雅康	登別市社会福祉協議会 常務理事	登別市社会福祉協議会の代表者	R2	
藤江 紀彦	登別市社会福祉協議会 常務理事	登別市社会福祉協議会の代表者	R3	
仲川 弘誓	登別市市民自治推進委員会 委員長	登別市市民自治推進委員会の委員長	R2-R3	
中塚 信	登別市都市計画マスタープラン改訂 市民会議 会長	登別市都市計画マスタープラン改訂 市民会議の会長	R2-R3	
中平 将	登別国際観光コンベンション協会 係長	登別国際観光コンベンション協会の 代表者	R2-R3	
福井 誠	日本工学院北海道専門学校 校長	日本工学院北海道専門学校長が推薦 する職員	R2-R3	
三澤 由比子	登別市都市計画マスタープラン改訂 市民会議 副会長	登別市都市計画マスタープラン改訂 市民会議の副会長	R2-R3	
渡辺 哲也	登別商工会議所	登別商工会議所の代表者	R2-R3	
石井 智之	北海道開発局室蘭開発建設部 地域振興対策官	北海道開発局室蘭開発建設部の職員	R2	
畠山 浩和	北海道開発局室蘭開発建設部 地域振興対策官	北海道開発局室蘭開発建設部の職員	R3	
山中 広徳	北海道胆振総合振興局 室蘭建設管理部事業室地域調整課長	北海道胆振総合振興局の職員	R2	
小松 周二	北海道胆振総合振興局 室蘭建設管理部事業室地域調整課長	北海道胆振総合振興局の職員	R3	
佐藤 紀清	市職員	登別市総務部長	R2	
千葉 浩樹	市職員	登別市市民生活部長	R2-R3	
松本 朋史	市職員	登別市保健福祉部長	R2	
沼田 久人	市職員	登別市保健福祉部長	R3	
松田 毅	市職員	登別市観光経済部長	R2	
		登別市総務部長	R3	
森元 俊明	市職員	登別市観光経済部長	R3	
対馬 秀樹	市職員	登別市都市整備部長	R2	副委員長 (R2)
南 三明	市職員	登別市都市整備部次長	R2	副委員長 (R3)
		登別市都市整備部長	R3	
相馬 裕一	市職員	登別市都市整備部次長	R2	
堀井 貴之	市職員	登別市教育部長	R2-R3	
泉 千代喜	市職員	登別市消防長	R2- R2.9	
三好 一也	市職員	登別市消防長	R2.10- R3	



## 4. 上位計画・関連計画

## ●上位計画

策定主体	計画名	計画概要
北海道	室蘭圏都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 (室蘭圏都市計画区域マスタープラン) 【計画期間：令和3年(2021年)～令和12年(2030年)】	主要用途の配置方針や市街地における住宅建設の方針、市街地における土地利用の方針等を定めるものです。
登別市	登別市総合計画第3期基本計画 【計画期間：平成28年度(2016年度)～令和7年度(2025年度)】	目指すべき将来像とその実現に向けたまちづくりの方向性を示すもので、分野別の目標などを体系的にまとめた市の上位計画です。
	第2期登別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 【計画期間：令和2年度(2020年度)～令和7年度(2025年度)】	総合計画第3期基本計画に連なるものとして、地方創生に対する基本的な考え方、地方創生のための重点戦略及び具体的な施策及び数値目標を設定するものです。
	登別市強靱化計画 【令和3年度(2021年度)～令和7年度(2025年度)】	「強さとしなやかさ」を備えた国土、経済社会システムを平時から構築することを目的として策定するものです。

## ●関連計画

策定主体	計画名	計画概要
登別市	登別市立地適正化計画	市民が安心して暮らすことのできるようなまちづくりの指針とするとともに、持続可能なコンパクトシティの実現に向けて、具体的な施策を推進するためのものです。
	登別市地域公共交通計画	まちづくりと連携した地域公共交通のネットワークの形成と市域における輸送資源の総動員を図り、持続可能な旅客輸送サービスの提供を確保することを目的とするものです。
	登別市みどりの基本計画	緑地の保全や緑化の推進方策、公園の配置方針、市民参加のしくみなどを取りまとめたものです。
	登別市景観形成基本計画	登別市総合計画の主要施策である「美しい都市景観の創造」を効果的に進めるための指針であり、実現のために必要な総合的な方策を示したものです。
	登別市公共施設等総合管理計画	公共施設等における総合的かつ計画的な管理を推進するための基本的な方針を示したものです。
	公共施設整備方針	適正配置を含めた公共施設整備についての市の基本的な考え方を示したものです。
	登別市空家等対策計画	国の基本指針に即し、空き家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するためのものです。
	登別市営住宅等長寿命化計画	安全で快適な住まいを長きにわたって確保するため、修繕、改善、建て替えなどの市営住宅等の活用手法を定め、長期的な維持管理の実現を目的として策定するものです。



## 5. まちづくりに関する市民意識

### (1) 市民アンケート

#### 調査概要

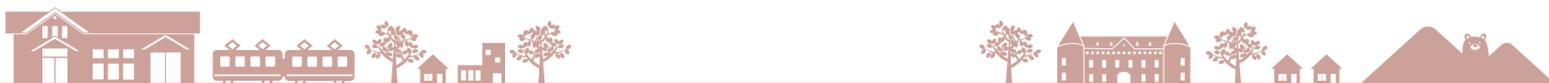
調査対象	市内に居住する満16歳以上の男女
調査期間	平成30年(2018年)10月24日(水)～11月7日(水)
配付数	2,300票
回収数(回収率)	1,102票(47.9%)
配付・回収方法	郵送配付・郵送回収

<注意> 数値は表示単位未満を四捨五入して掲載しているため、合計値は必ずしも100%とはなりません。

#### 年齢別・地域別回収率

地域	年代							
	10代 (16歳以上)	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	合計
鷺別地域	28.0%	21.2%	26.9%	41.3%	48.2%	57.7%	68.4%	46.6%
幌別地域	27.3%	24.2%	38.8%	34.9%	53.4%	59.6%	71.8%	49.1%
登別地域	33.3%	13.6%	34.6%	29.7%	28.1%	61.4%	71.4%	43.4%
登別温泉地域	0.0%	25.0%	25.0%	42.9%	66.7%	14.3%	42.9%	35.1%
合計	27.6%	21.8%	32.5%	37.6%	48.9%	58.2%	69.7%	47.2%

※年齢・居住地域の「無回答」を含めていないため、合計の回収率(47.2%)は全体の回収率(47.9%)と一致しません。



序章 はじめに

1章 登別市の概要及び現況と課題

2章 理念と目標

3章 全体構想

4章 地域別構想

5章 計画実現化に向けて

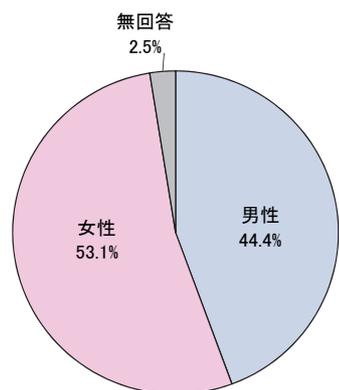
参考資料

用語解説

## 1) 回答者属性

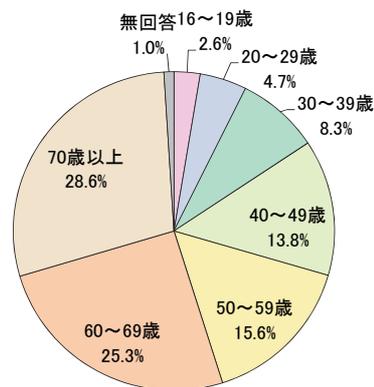
### 問1 性別と年齢

設問	回答数	割合
男性	489	44.4%
女性	585	53.1%
無回答	28	2.5%
計	1,102	100.0%



N=1,102

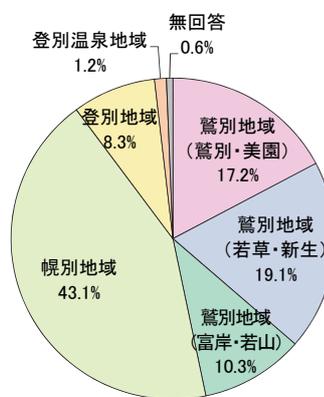
設問	回答数	割合
16～19歳	29	2.6%
20～29歳	52	4.7%
30～39歳	92	8.3%
40～49歳	152	13.8%
50～59歳	172	15.6%
60～69歳	279	25.3%
70歳以上	315	28.6%
無回答	11	1.0%
計	1,102	100.0%



N=1,102

### 問2 居住地域

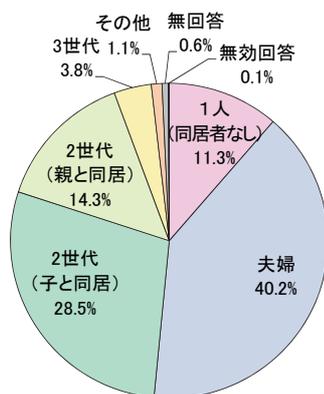
設問	回答数	割合
鷺別地域(鷺別・美園)	190	17.2%
鷺別地域(若草・新生)	211	19.1%
鷺別地域(富岸・若山)	114	10.3%
幌別地域	475	43.1%
登別地域	92	8.3%
登別温泉地域	13	1.2%
無回答	7	0.6%
計	1,102	100.0%



N=1,102

### 問3 家族構成

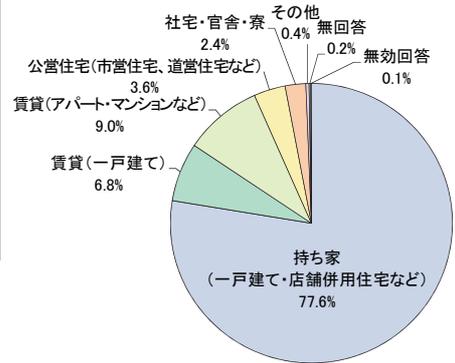
設問	回答数	割合
1人(同居者なし)	125	11.3%
夫婦	443	40.2%
2世代(子と同居)	314	28.5%
2世代(親と同居)	158	14.3%
3世代	42	3.8%
その他	12	1.1%
無回答	7	0.6%
無効回答	1	0.1%
計	1,102	100.0%



N=1,102

#### 問4 住まい

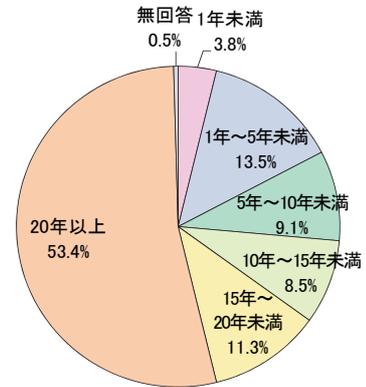
設問	回答数	割合
持ち家(一戸建て・店舗併用住宅など)	855	77.6%
賃貸(一戸建て)	75	6.8%
賃貸(アパート・マンションなど)	99	9.0%
公営住宅(市営住宅、道営住宅など)	40	3.6%
社宅・官舎・寮	26	2.4%
その他	4	0.4%
無回答	2	0.2%
無効回答	1	0.1%
計	1,102	100.0%



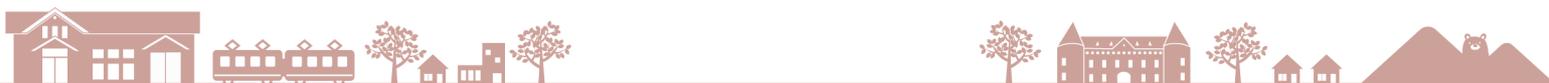
N=1,102

#### 問5 現在の住まいの居住年数

設問	回答数	割合
1年未満	42	3.8%
1年～5年未満	149	13.5%
5年～10年未満	100	9.1%
10年～15年未満	94	8.5%
15年～20年未満	124	11.3%
20年以上	588	53.4%
無回答	5	0.5%
計	1,102	100.0%



N=1,102



序章 はじめに

1章 登別市の概要及び現況と課題

2章 理念と目標

3章 全体構想

4章 地域別構想

5章 計画実現化に向けて

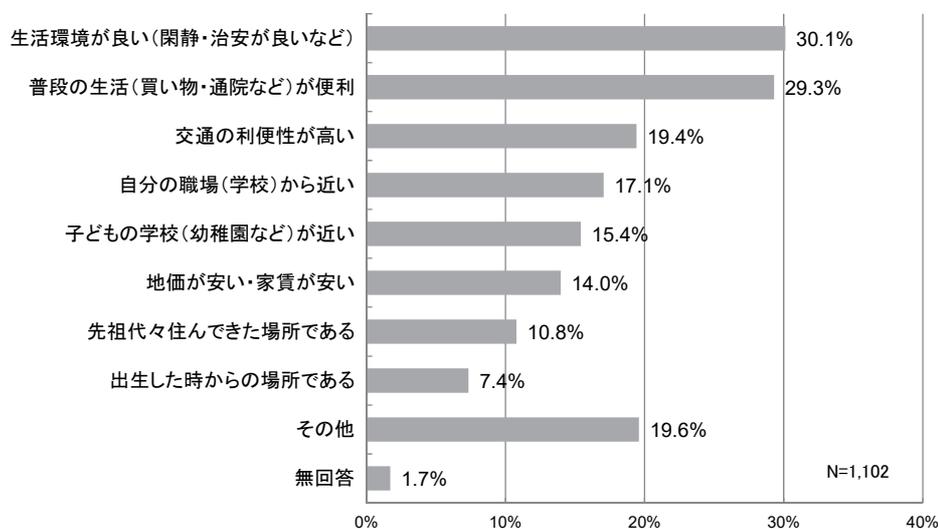
参考資料

用語解説

問6 現在の住まいを選んだ理由は何ですか。

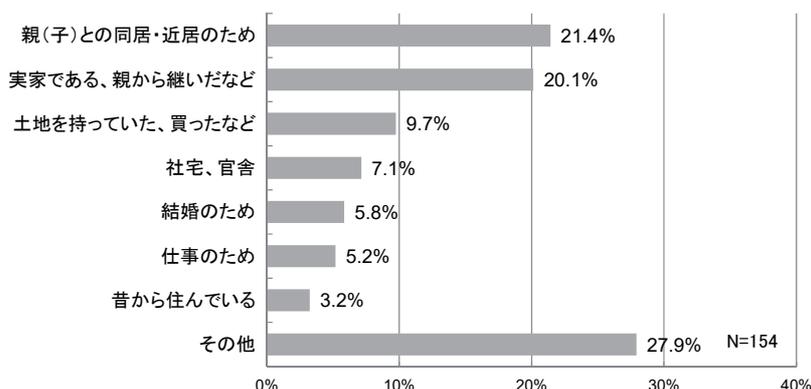
設 問	回答数	割合
生活環境が良い(閑静・治安が良いなど)	332	30.1%
普段の生活(買い物・通院など)が便利	323	29.3%
交通の利便性が高い	214	19.4%
自分の職場(学校)から近い	188	17.1%
子どもの学校(幼稚園など)が近い	170	15.4%
地価が安い・家賃が安い	154	14.0%
先祖代々住んできた場所である	119	10.8%
出生した時からの場所である	81	7.4%
その他	216	19.6%
無回答	19	1.7%
サンプル数	1,102	—

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



その他の回答(分類)	回答数	割合
親(子)との同居・近居のため	33	21.4%
実家である、親から継いだなど	31	20.1%
土地を持っていた、買ったなど	15	9.7%
社宅、官舎	11	7.1%
結婚のため	9	5.8%
仕事のため	8	5.2%
昔から住んでいる	5	3.2%
その他	43	27.9%
サンプル数	154	—

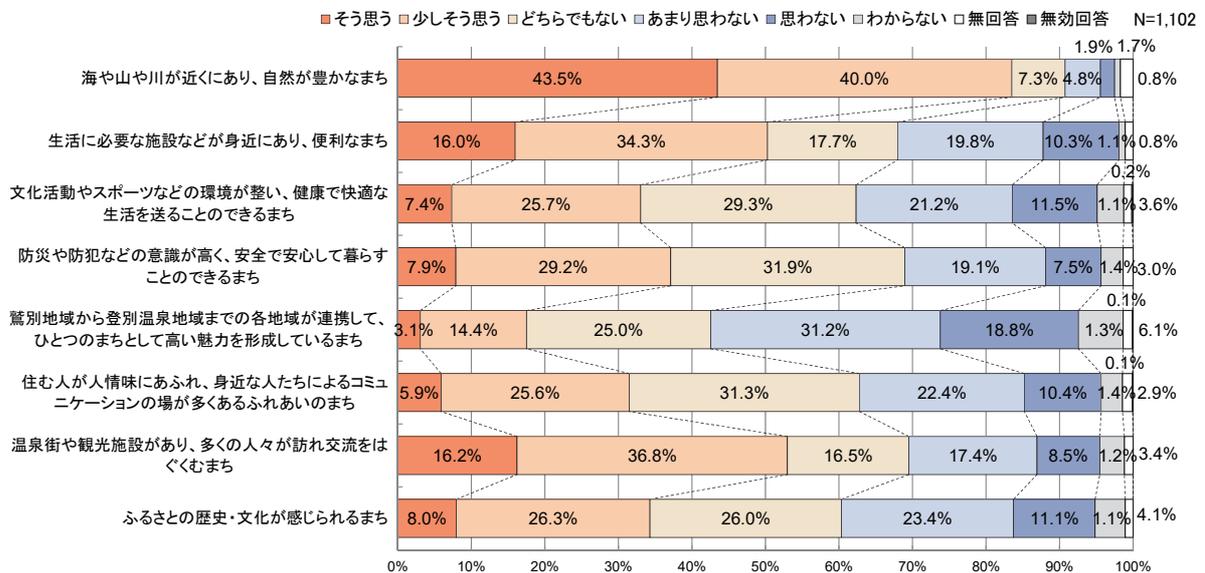
※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



## 2) 居住環境について

問7 あなたは現在の登別市全体について、どのような印象をお持ちですか。

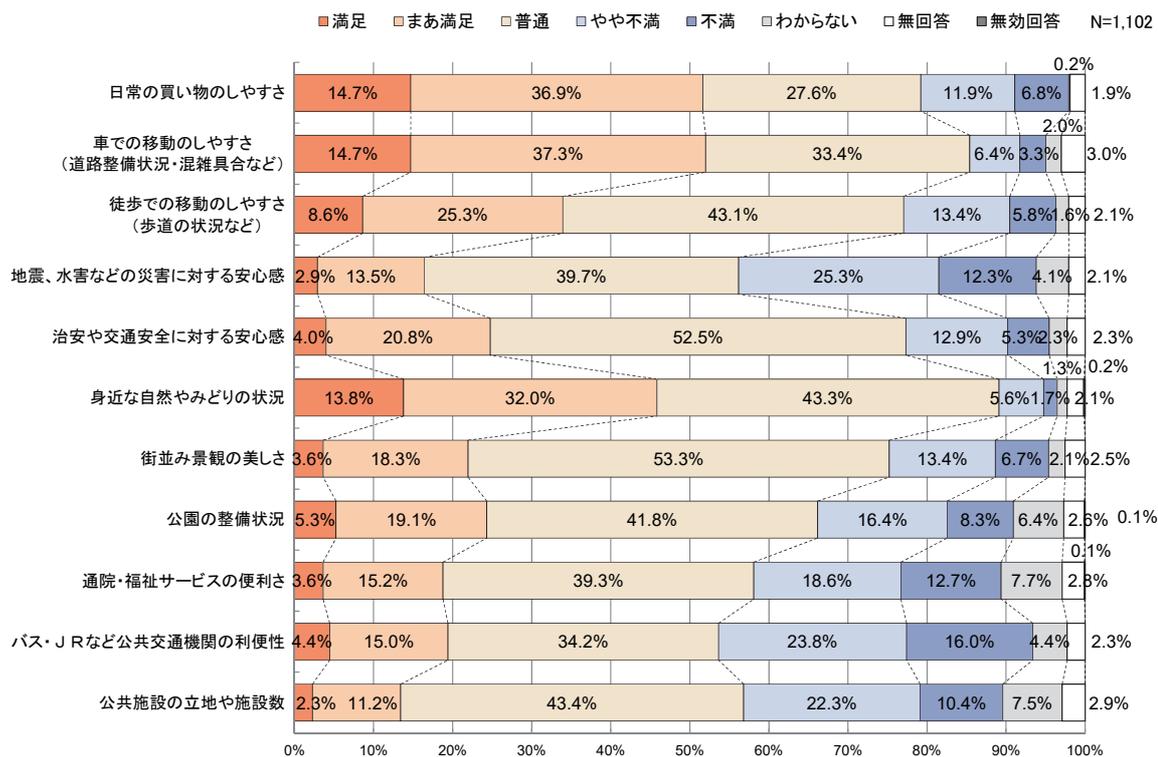
設問	そう思う	少し そう思う	どちらでも ない	あまり 思わない	思わない	わからない	無回答	無効回答	計
海や山や川が近くにあり、自然が豊かなまち	479	441	80	53	21	9	19	0	1,102
	43.5%	40.0%	7.3%	4.8%	1.9%	0.8%	1.7%	0.0%	100.0%
生活に必要な施設などが身近にあり、便利なまち	176	378	195	218	114	9	12	0	1,102
	16.0%	34.3%	17.7%	19.8%	10.3%	0.8%	1.1%	0.0%	100.0%
文化活動やスポーツなどの環境が整い、健康で快適な生活を送ることができるまち	81	283	323	234	127	40	12	2	1,102
	7.4%	25.7%	29.3%	21.2%	11.5%	3.6%	1.1%	0.2%	100.0%
防災や防犯などの意識が高く、安全で安心して暮らすことのできるまち	87	322	351	211	83	33	15	0	1,102
	7.9%	29.2%	31.9%	19.1%	7.5%	3.0%	1.4%	0.0%	100.0%
鷺別地域から登別温泉地域までの各地域が連携して、ひとつのまちとして高い魅力を形成しているまち	34	159	276	344	207	67	14	1	1,102
	3.1%	14.4%	25.0%	31.2%	18.8%	6.1%	1.3%	0.1%	100.0%
住む人が人情味にあふれ、身近な人たちによるコミュニケーションの場が多くあるふれあいのまち	65	282	345	247	115	32	15	1	1,102
	5.9%	25.6%	31.3%	22.4%	10.4%	2.9%	1.4%	0.1%	100.0%
温泉街や観光施設があり、多くの人々が訪れ交流をはぐむまち	179	405	182	192	94	37	13	0	1,102
	16.2%	36.8%	16.5%	17.4%	8.5%	3.4%	1.2%	0.0%	100.0%
ふるさとの歴史・文化が感じられるまち	88	290	287	258	122	45	12	0	1,102
	8.0%	26.3%	26.0%	23.4%	11.1%	4.1%	1.1%	0.0%	100.0%



問8 あなたがお住まいの地域の環境に関する【A】、【B】、【C】の各設問について、あなたのお考えに一番近いものをそれぞれお選びください。

【A】現在の満足度

設問	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	わからない	無回答	無効回答	計
日常の買い物のしやすさ	162 14.7%	407 36.9%	304 27.6%	131 11.9%	75 6.8%	2 0.2%	21 1.9%	0 0.0%	1,102 100.0%
車での移動のしやすさ (道路整備状況・混雑具合など)	162 14.7%	411 37.3%	368 33.4%	70 6.4%	36 3.3%	22 2.0%	33 3.0%	0 0.0%	1,102 100.0%
徒歩での移動のしやすさ (歩道の状況など)	95 8.6%	279 25.3%	475 43.1%	148 13.4%	148 13.4%	18 1.6%	23 2.1%	0 0.0%	1,102 100.0%
地震、水害などの災害に対する安心感	32 2.9%	149 13.5%	438 39.7%	279 25.3%	136 12.3%	45 4.1%	23 2.1%	0 0.0%	1,102 100.0%
治安や交通安全に対する安心感	44 4.0%	229 20.8%	579 52.5%	142 12.9%	58 5.3%	25 2.3%	25 2.3%	0 0.0%	1,102 100.0%
身近な自然やみどりの状況	152 13.8%	353 32.0%	477 43.3%	62 5.6%	19 1.7%	14 1.3%	23 2.1%	2 0.2%	1,102 100.0%
街並み景観の美しさ	40 3.6%	202 18.3%	587 53.3%	148 13.4%	74 6.7%	23 2.1%	28 2.5%	0 0.0%	1,102 100.0%
公園の整備状況	58 5.3%	210 19.1%	461 41.8%	181 16.4%	92 8.3%	70 6.4%	29 2.6%	1 0.1%	1,102 100.0%
通院・福祉サービスの便利さ	40 3.6%	167 15.2%	433 39.3%	205 18.6%	140 12.7%	85 7.7%	31 2.8%	1 0.1%	1,102 100.0%
バス・JRなど公共交通機関の利便性	49 4.4%	165 15.0%	377 34.2%	262 23.8%	176 16.0%	48 4.4%	25 2.3%	0 0.0%	1,102 100.0%
公共施設の立地や施設数	25 2.3%	123 11.2%	478 43.4%	246 22.3%	115 10.4%	83 7.5%	32 2.9%	0 0.0%	1,102 100.0%

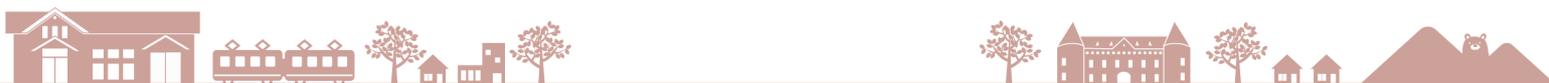
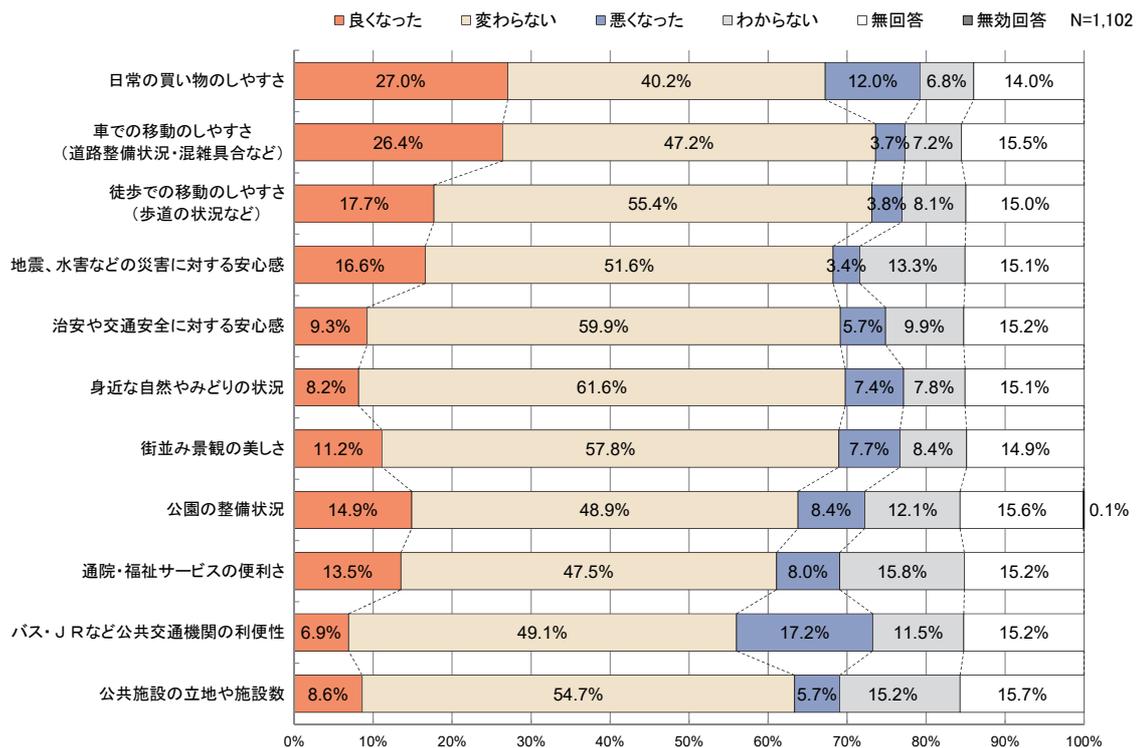


序章 はじめに  
1章 登別市の概要及び現況と課題  
2章 理念と目標  
3章 全体構想  
4章 地域別構想  
5章 計画実現化に向けて  
参考資料  
用語解説



【B】昔と比べた現在の印象

設 問	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない	無回答	無効回答	計
日常の買い物のしやすさ	298 27.0%	443 40.2%	132 12.0%	75 6.8%	154 14.0%	0 0.0%	1,102 100.0%
車での移動のしやすさ (道路整備状況・混雑具合など)	291 26.4%	520 47.2%	41 3.7%	79 7.2%	171 15.5%	0 0.0%	1,102 100.0%
徒歩での移動のしやすさ (歩道の状況など)	195 17.7%	611 55.4%	42 3.8%	89 8.1%	165 15.0%	0 0.0%	1,102 100.0%
地震、水害などの災害に対する安心感	183 16.6%	569 51.6%	37 3.4%	147 13.3%	166 15.1%	0 0.0%	1,102 100.0%
治安や交通安全に対する安心感	102 9.3%	660 59.9%	63 5.7%	109 9.9%	168 15.2%	0 0.0%	1,102 100.0%
身近な自然やみどりの状況	90 8.2%	679 61.6%	81 7.4%	86 7.8%	166 15.1%	0 0.0%	1,102 100.0%
街並み景観の美しさ	123 11.2%	637 57.8%	85 7.7%	93 8.4%	164 14.9%	0 0.0%	1,102 100.0%
公園の整備状況	164 14.9%	539 48.9%	93 8.4%	133 12.1%	172 15.6%	1 0.1%	1,102 100.0%
通院・福祉サービスの便利さ	149 13.5%	524 47.5%	88 8.0%	174 15.8%	167 15.2%	0 0.0%	1,102 100.0%
バス・JRなど公共交通機関の利便性	76 6.9%	541 49.1%	190 17.2%	127 11.5%	168 15.2%	0 0.0%	1,102 100.0%
公共施設の立地や施設数	95 8.6%	603 54.7%	63 5.7%	168 15.2%	173 15.7%	0 0.0%	1,102 100.0%



序章 はじめに

1章 登別市の概要及び現況と課題

2章 理念と目標

3章 全体構想

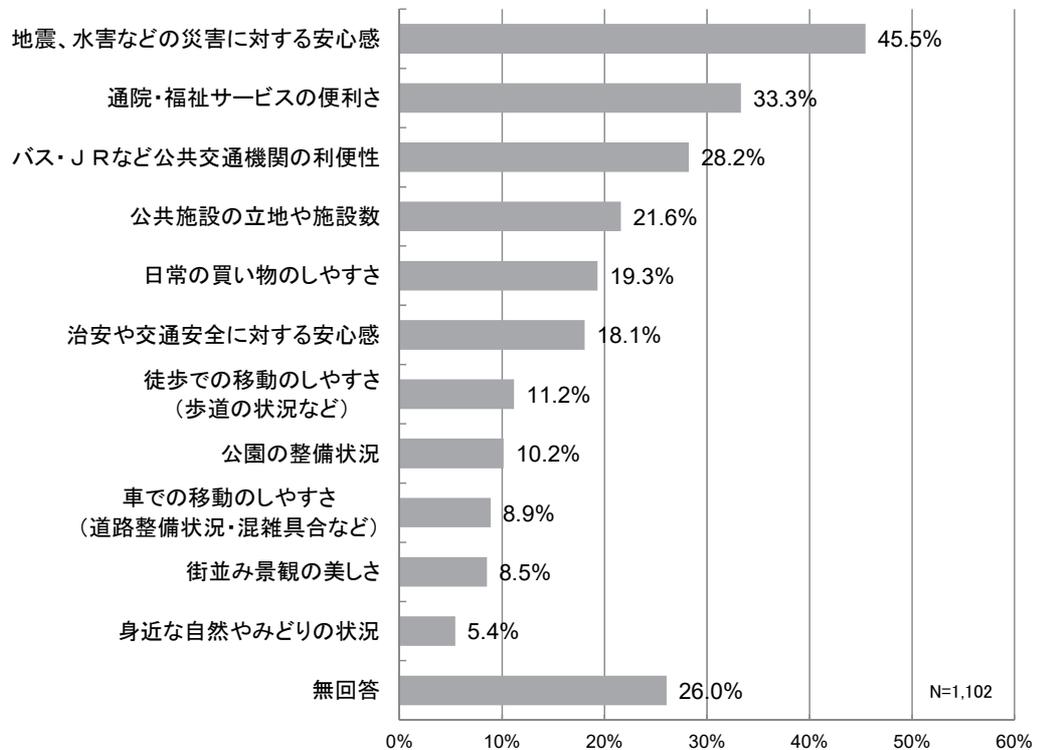
4章 地域別構想

5章 計画実現化に向けて

【C】力を入れるべきと考える項目

設 問	回答数	割合
地震、水害などの災害に対する安心感	501	45.5%
通院・福祉サービスの便利さ	367	33.3%
バス・JRなど公共交通機関の利便性	311	28.2%
公共施設の立地や施設数	238	21.6%
日常の買い物のしやすさ	213	19.3%
治安や交通安全に対する安心感	199	18.1%
徒歩での移動のしやすさ (歩道の状況など)	123	11.2%
公園の整備状況	112	10.2%
車での移動のしやすさ (道路整備状況・混雑具合など)	98	8.9%
街並み景観の美しさ	94	8.5%
身近な自然やみどりの状況	60	5.4%
無回答	287	26.0%
サンプル数	1,102	-

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



参考資料

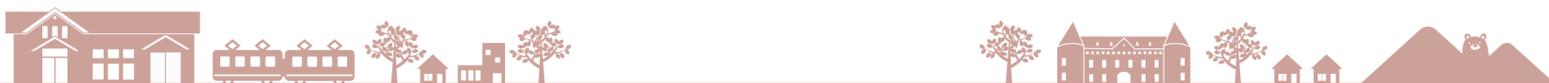
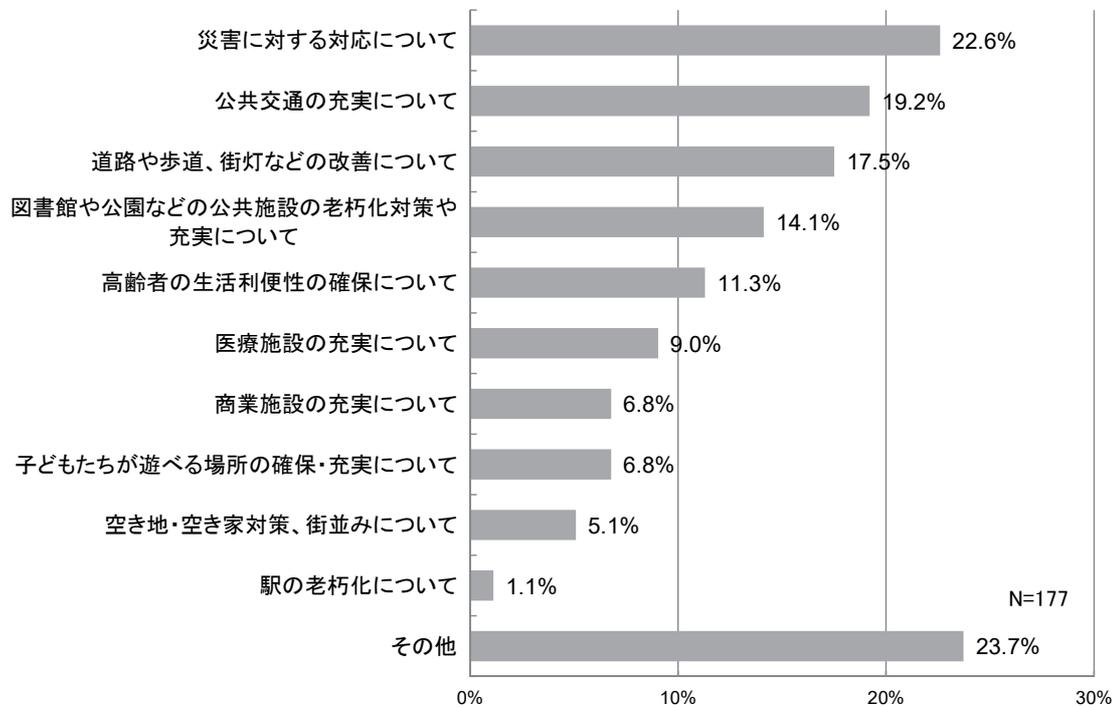
用語解説



特に力を入れるべきと考える項目についての意見

分 類	回答数	割合
災害に対する対応について	40	22.6%
公共交通の充実について	34	19.2%
道路や歩道、街灯などの改善について	31	17.5%
図書館や公園などの公共施設の老朽化対策や充実について	25	14.1%
高齢者の生活利便性の確保について	20	11.3%
医療施設の充実について	16	9.0%
商業施設の充実について	12	6.8%
子どもたちが遊べる場所の確保・充実について	12	6.8%
空き地・空き家対策、街並みについて	9	5.1%
駅の老朽化について	2	1.1%
その他	42	23.7%
サンプル数	177	—

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。

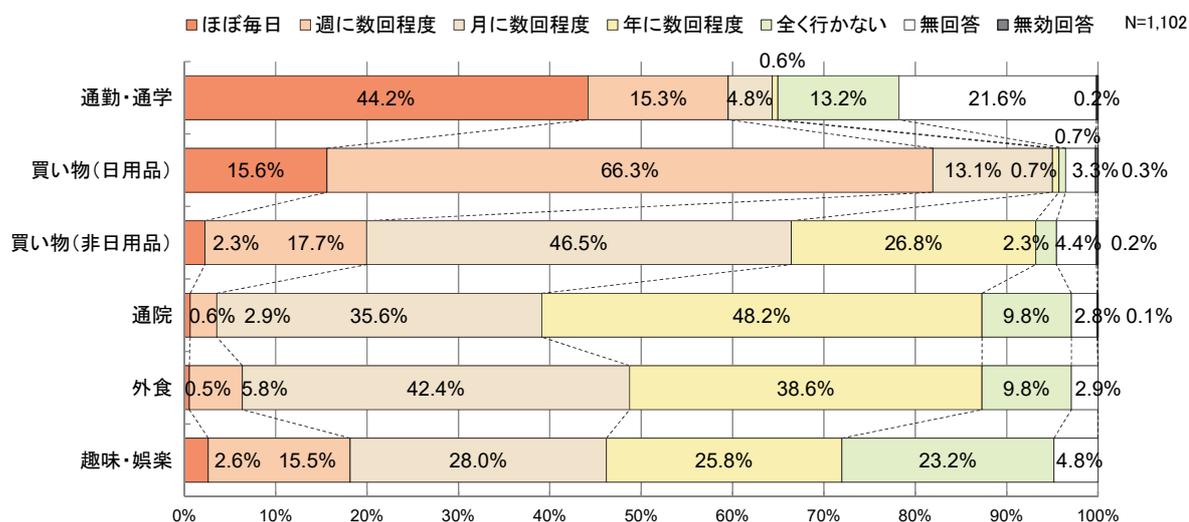


### 3) 日常生活について

問9 あなたが日常生活の中で次の(1)～(6)のような目的で外出(おでかけ)するときの、【A外出頻度】、【B主な行き先】、【C主な移動手段】についてお選びください。

#### 【A外出頻度】

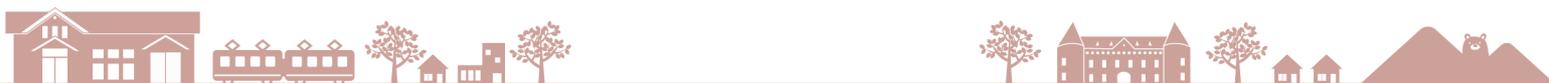
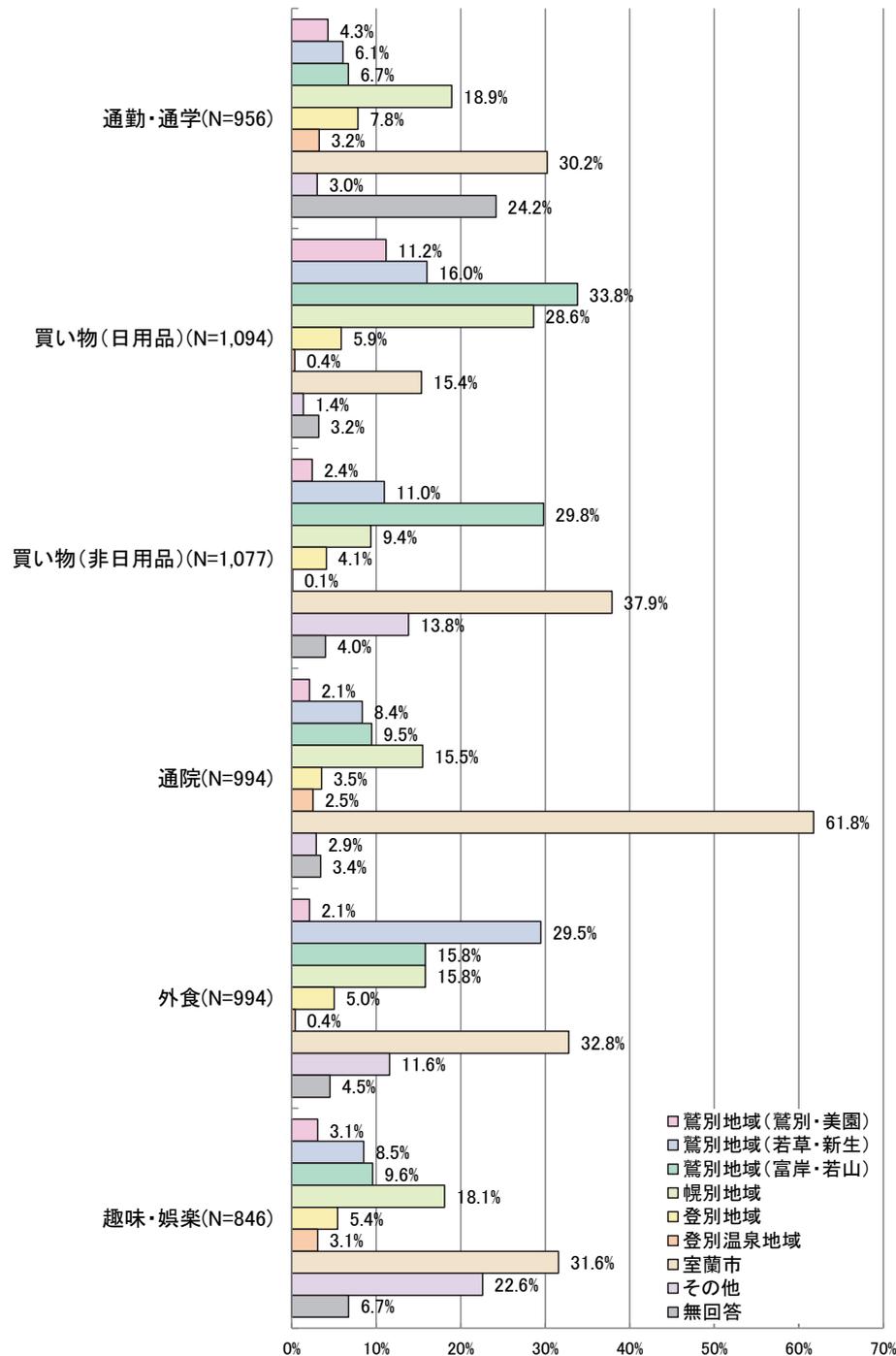
設問	ほぼ毎日	週に 数回程度	月に 数回程度	年に 数回程度	全く 行かない	無回答	無効回答	計
通勤・通学	487 44.2%	169 15.3%	53 4.8%	7 0.6%	146 13.2%	238 21.6%	2 0.2%	1,102 100.0%
買い物(日用品)	172 15.6%	731 66.3%	144 13.1%	8 0.7%	8 0.7%	36 3.3%	3 0.3%	1,102 100.0%
買い物(非日用品)	25 2.3%	195 17.7%	512 46.5%	295 26.8%	25 2.3%	48 4.4%	2 0.2%	1,102 100.0%
通院	7 0.6%	32 2.9%	392 35.6%	531 48.2%	108 9.8%	31 2.8%	1 0.1%	1,102 100.0%
外食	6 0.5%	64 5.8%	467 42.4%	425 38.6%	108 9.8%	32 2.9%	0 0.0%	1,102 100.0%
趣味・娯楽	29 2.6%	171 15.5%	309 28.0%	284 25.8%	256 23.2%	53 4.8%	0 0.0%	1,102 100.0%



【B主な行き先】

設 問	鷺別地域 (鷺別・美園)	鷺別地域 (若草・新生)	鷺別地域 (富岸・若山)	幌別地域	登別地域	登別温泉 地域	室蘭市	その他	無回答	サンプル数
通勤・通学	41 4.3%	58 6.1%	64 6.7%	181 18.9%	75 7.8%	31 3.2%	289 30.2%	29 3.0%	231 24.2%	956
買い物(日用品)	122 11.2%	175 16.0%	370 33.8%	313 28.6%	64 5.9%	4 0.4%	168 15.4%	15 1.4%	35 3.2%	1,094
買い物(非日用品)	26 2.4%	118 11.0%	321 29.8%	101 9.4%	44 4.1%	1 0.1%	408 37.9%	149 13.8%	43 4.0%	1,077
通院	21 2.1%	83 8.4%	94 9.5%	154 15.5%	35 3.5%	25 2.5%	614 61.8%	29 2.9%	34 3.4%	994
外食	21 2.1%	293 29.5%	157 15.8%	157 15.8%	50 5.0%	4 0.4%	326 32.8%	115 11.6%	45 4.5%	994
趣味・娯楽	26 3.1%	72 8.5%	81 9.6%	153 18.1%	46 5.4%	26 3.1%	267 31.6%	191 22.6%	57 6.7%	846

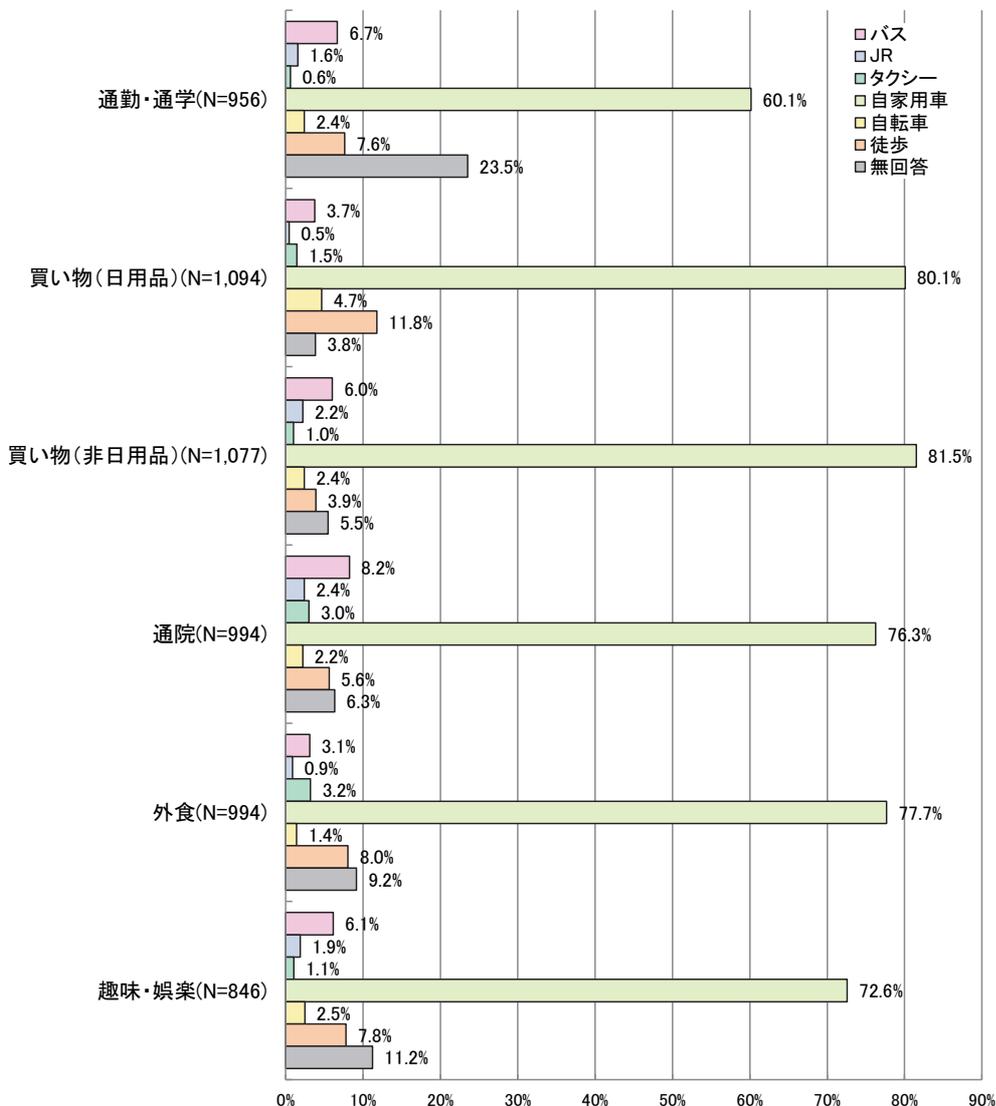
※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



【C主な移動手段】

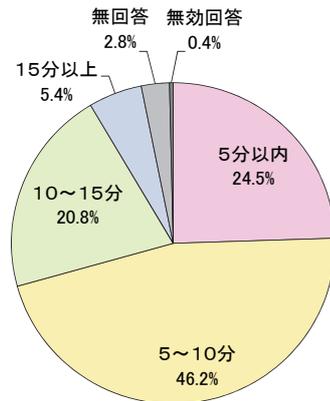
設 問	バス	JR	タクシー	自家用車	自転車	徒歩	無回答	サンプル数
通勤・通学	64	15	6	575	23	73	225	956
	6.7%	1.6%	0.6%	60.1%	2.4%	7.6%	23.5%	-
買い物(日用品)	41	5	16	876	51	129	42	1,094
	3.7%	0.5%	1.5%	80.1%	4.7%	11.8%	3.8%	-
買い物(非日用品)	65	24	11	878	26	42	59	1,077
	6.0%	2.2%	1.0%	81.5%	2.4%	3.9%	5.5%	-
通院	82	24	30	758	22	56	63	994
	8.2%	2.4%	3.0%	76.3%	2.2%	5.6%	6.3%	-
外食	31	9	32	772	14	80	91	994
	3.1%	0.9%	3.2%	77.7%	1.4%	8.0%	9.2%	-
趣味・娯楽	52	16	9	614	21	66	95	846
	6.1%	1.9%	1.1%	72.6%	2.5%	7.8%	11.2%	-

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



問 10 あなたは自宅からJR駅又はバス停留所まで、徒歩でかかる時間（片道）は、どれくらいまでなら良いと思いますか？

設 問	回答数	割合
5分以内	270	24.5%
5～10分	509	46.2%
10～15分	229	20.8%
15分以上	59	5.4%
無回答	31	2.8%
無効回答	4	0.4%
計	1,102	100.0%

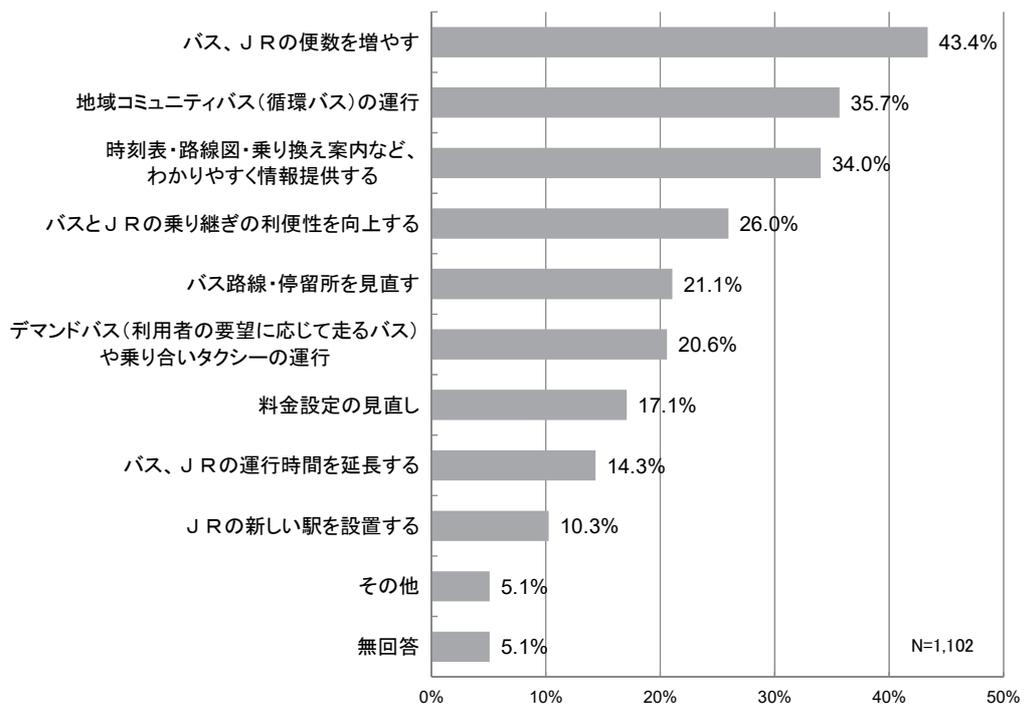


N=1,102

問 11 あなたが公共交通を利用しやすくするために必要だと思うことは何ですか？

設 問	回答数	割合
バス、JRの便数を増やす	478	43.4%
地域コミュニティバス(循環バス)の運行	393	35.7%
時刻表・路線図・乗り換え案内など、わかりやすく情報提供する	375	34.0%
バスとJRの乗り継ぎの利便性を向上する	286	26.0%
バス路線・停留所を見直す	232	21.1%
デマンドバス(利用者の要望に応じて走るバス)や乗り合いタクシーの運行	227	20.6%
料金設定の見直し	188	17.1%
バス、JRの運行時間を延長する	158	14.3%
JRの新しい駅を設置する	113	10.3%
その他	56	5.1%
無回答	56	5.1%
サンプル数	1,102	-

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。

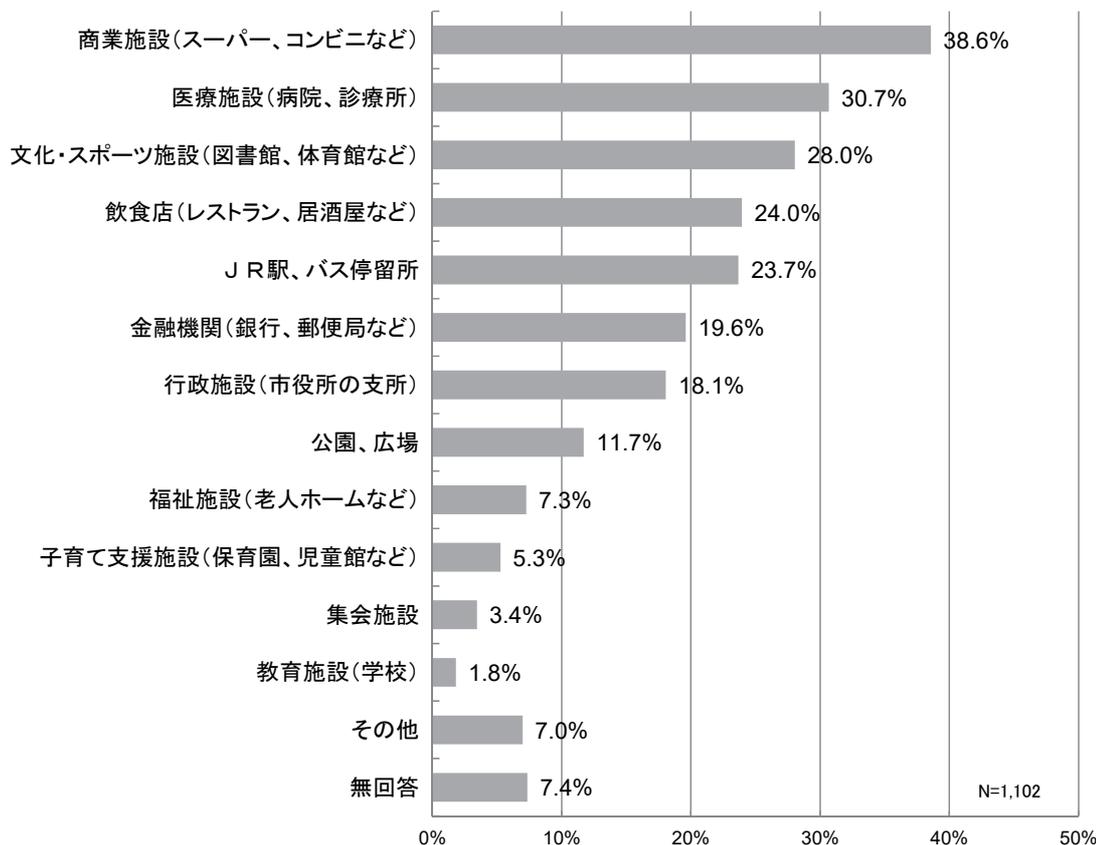


N=1,102

問 12 あなたが日常生活の中で、現在お住まいの周辺（徒歩で移動できる範囲）にあれば良いと思う施設は何ですか？

設 問	回答数	割合
商業施設(スーパー、コンビニなど)	425	38.6%
医療施設(病院、診療所)	338	30.7%
文化・スポーツ施設(図書館、体育館など)	309	28.0%
飲食店(レストラン、居酒屋など)	264	24.0%
JR駅、バス停留所	261	23.7%
金融機関(銀行、郵便局など)	216	19.6%
行政施設(市役所の支所)	199	18.1%
公園、広場	129	11.7%
福祉施設(老人ホームなど)	80	7.3%
子育て支援施設(保育園、児童館など)	58	5.3%
集会施設	38	3.4%
教育施設(学校)	20	1.8%
その他	77	7.0%
無回答	81	7.4%
サンプル数	1,102	-

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



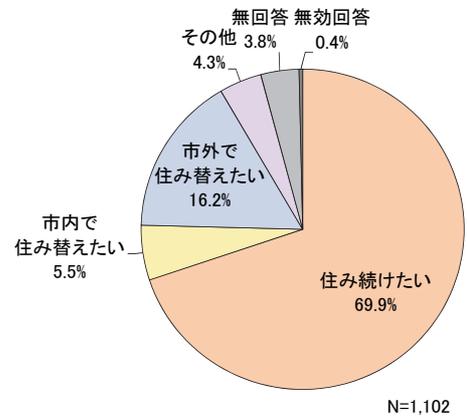
序章 はじめに  
1章 登別市の概要及び現状と課題  
2章 理念と目標  
3章 全体構想  
4章 地域別構想  
5章 計画実現化に向けて  
参考資料  
用語解説



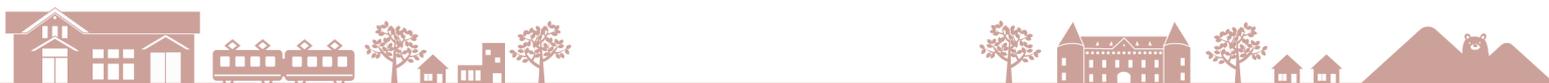
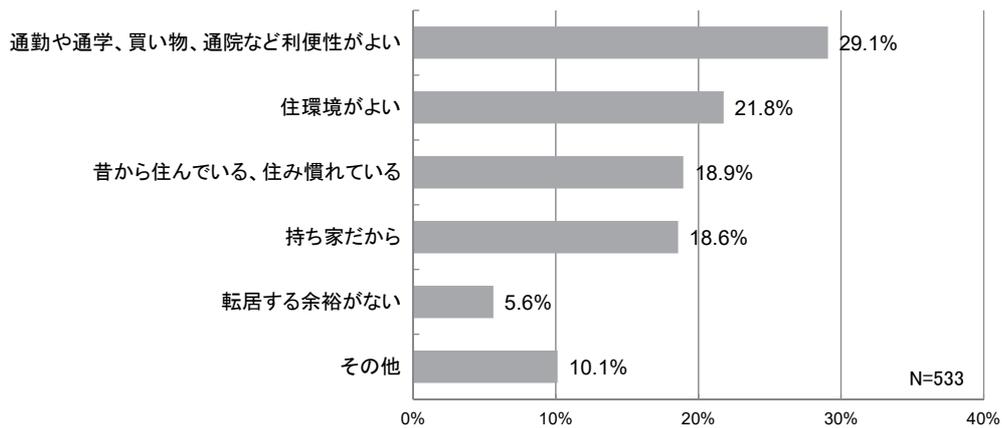
#### 4) 今後の居留意向について

問 13 あなたは今後とも現在の居住地に住み続けたいですか？また、「市内で住み替えたい」「市外に住み替えたい」を選んだ方は、住み替え先についてもご回答ください。

設 問	回答数	割合
住み続けたい	770	69.9%
市内で住み替えたい	61	5.5%
市外で住み替えたい	178	16.2%
その他	47	4.3%
無回答	42	3.8%
無効回答	4	0.4%
計	1,102	100.0%



#### ● 「住み続けたい」理由



序章 はじめに

1章 登別市の概要及び現況と課題

2章 理念と目標

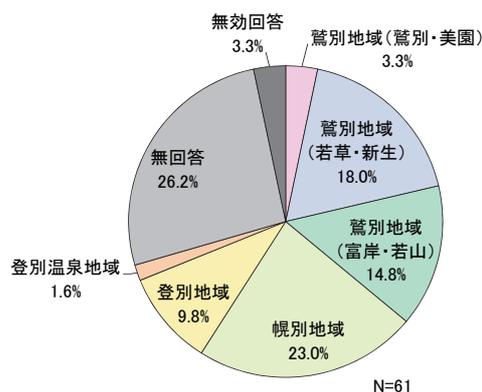
3章 全体構想

4章 地域別構想

5章 計画実現化に向けて

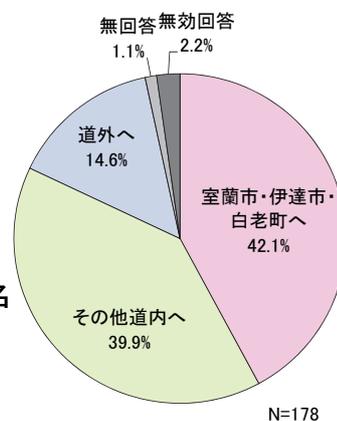
● 「市内で住み替えたい」 住み替え先

設 問	回答数	割合
鷺別地域(鷺別・美園)	2	3.3%
鷺別地域(若草・新生)	11	18.0%
鷺別地域(富岸・若山)	9	14.8%
幌別地域	14	23.0%
登別地域	6	9.8%
登別温泉地域	1	1.6%
無回答	16	26.2%
無効回答	2	3.3%
計	61	100.0%



● 「市外に住み替えたい」 住み替え先

設 問	回答数	割合
室蘭市・伊達市・白老町へ	75	42.1%
その他道内へ	71	39.9%
道外へ	26	14.6%
無回答	2	1.1%
無効回答	4	2.2%
計	178	100.0%



● 「その他道内へ住み替えたい」 住み替え先の具体的な市町村名

「Bその他道内」の市町村	回答数	割合
札幌市、札幌近郊	54	84.4%
苫小牧市	9	14.1%
旭川市	2	3.1%
恵庭市	1	1.6%
千歳市	1	1.6%
計	64	—

参考資料

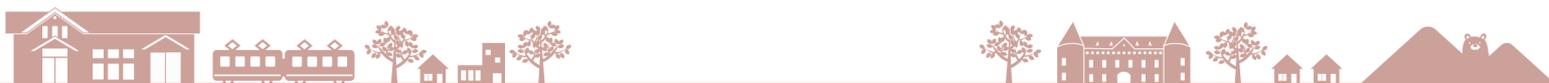
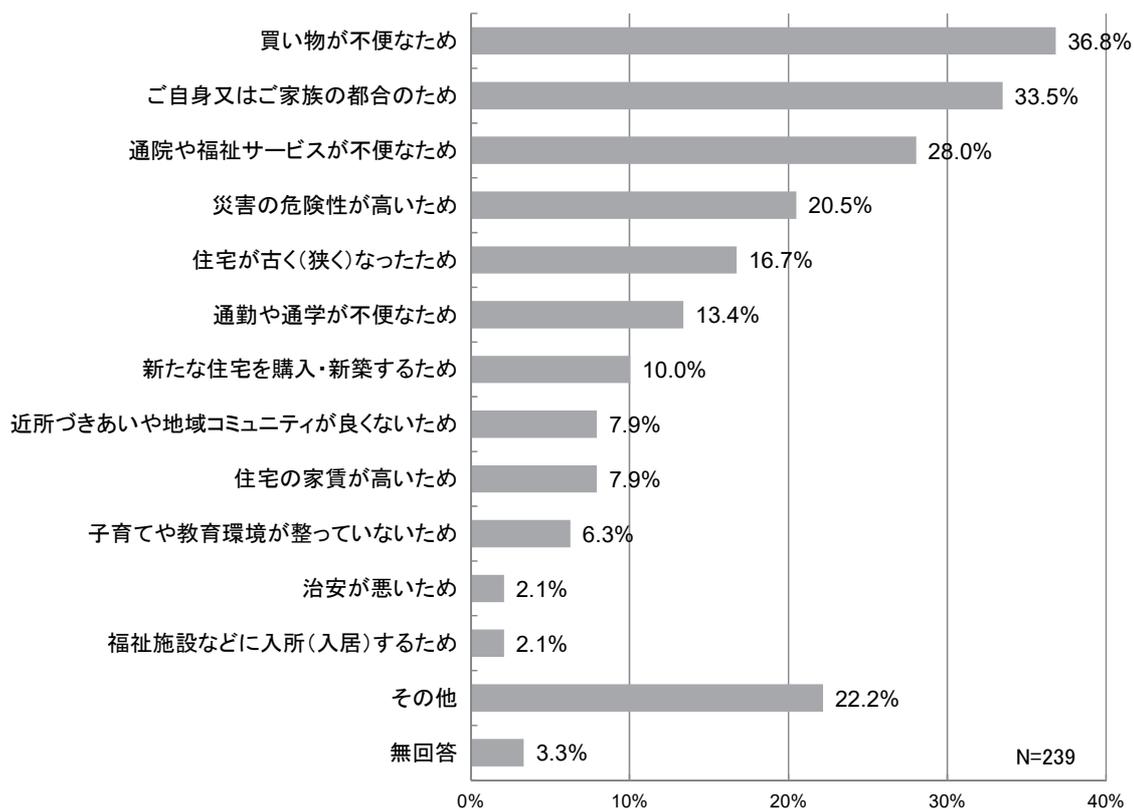
用語解説



問 14 問 13 で「市内で住み替えたい」又は「市外に住み替えたい」を選んだ方にお尋ねします。住み替えたい理由は何ですか？

設 問	回答数	割合
買い物が不便なため	88	36.8%
ご自身又はご家族の都合のため	80	33.5%
通院や福祉サービスが不便なため	67	28.0%
災害の危険性が高いため	49	20.5%
住宅が古く(狭く)なったため	40	16.7%
通勤や通学が不便なため	32	13.4%
新たな住宅を購入・新築するため	24	10.0%
近所づきあいや地域コミュニティが良くないため	19	7.9%
住宅の家賃が高いため	19	7.9%
子育てや教育環境が整っていないため	15	6.3%
治安が悪いため	5	2.1%
福祉施設などに入所(入居)するため	5	2.1%
その他	53	22.2%
無回答	8	3.3%
サンプル数	239	-

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



序章 はじめに

1章 登別市の概要及び現状と課題

2章 理念と目標

3章 全体構想

4章 地域別構想

5章 計画実現化に向けて

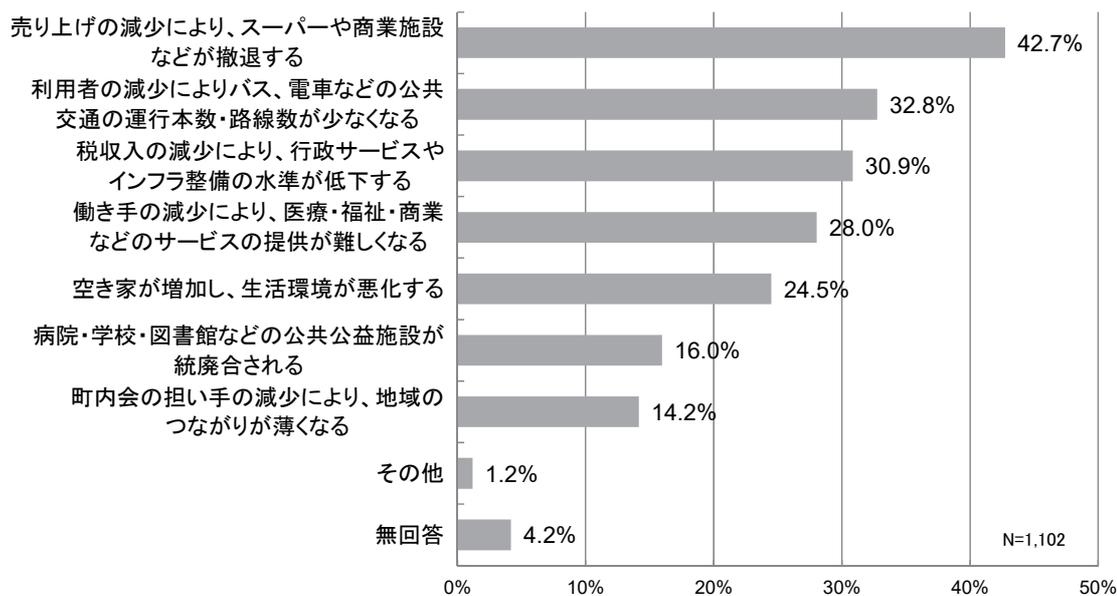
## 5) 今後のまちづくりについて

### ① 人口減少とまちづくりについて

問 15 登別市の人口減少と少子高齢化の進行によって生じると考えられる問題について、あなたが不安に感じるものは何ですか？

設 問	回答数	割合
売上げの減少により、スーパーや商業施設などが撤退する	471	42.7%
利用者の減少によりバス、電車などの公共交通の運行本数・路線数が少なくなる	361	32.8%
税収入の減少により、行政サービスやインフラ整備の水準が低下する	340	30.9%
働き手の減少により、医療・福祉・商業などのサービスの提供が難しくなる	309	28.0%
空き家が増加し、生活環境が悪化する	270	24.5%
病院・学校・図書館などの公共公益施設が統廃合される	176	16.0%
町内会の担い手の減少により、地域のつながりが薄くなる	156	14.2%
その他	13	1.2%
無回答	46	4.2%
サンプル数	1,102	-

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



参考資料

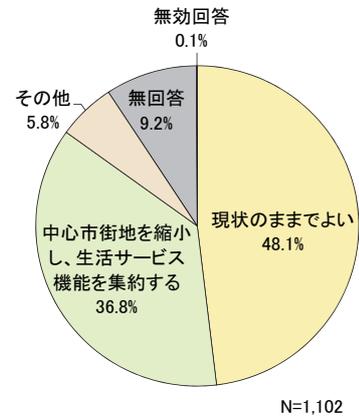
用語解説



問 16 登別市では、今後も人口減少が進行すると予測されておりますが、あなたは今後どのようなまちづくり（市街地づくり）を進めていくべきと考えますか？

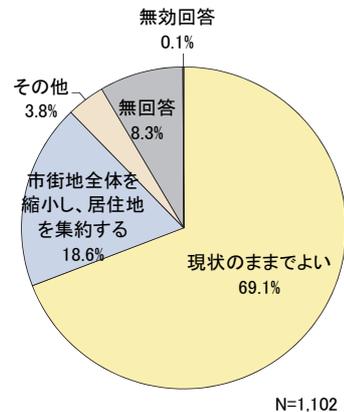
【A】生活サービス機能について

設 問	回答数	割合
商業・医療・公共施設などの生活サービス機能は現状のままでよい	530	48.1%
鷺別・幌別・登別・登別温泉地域など、地域ごとに中心市街地を縮小し、商業・医療・公共施設などの生活サービス機能を集約する	406	36.8%
その他	64	5.8%
無回答	101	9.2%
無効回答	1	0.1%
計	1,102	100.0%



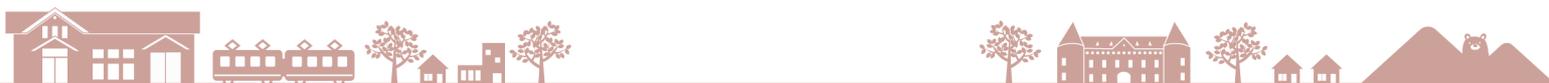
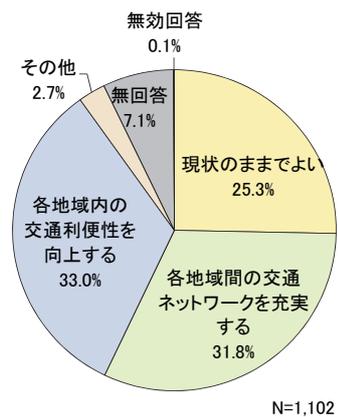
【B】居住地について

設 問	回答数	割合
居住地は現状のままでよい	762	69.1%
鷺別・幌別・登別・登別温泉地域など、地域ごとに市街地全体を縮小し、縮小した市街地の中に、転居などにより誘導を図りながら、居住地を集約する	205	18.6%
その他	42	3.8%
無回答	92	8.3%
無効回答	1	0.1%
計	1,102	100.0%



【C】公共交通について

設 問	回答数	割合
公共交通は現状のままでよい	279	25.3%
鷺別・幌別・登別・登別温泉地域などの各地域間の交通ネットワークを充実する	350	31.8%
各地域内の交通利便性を向上する	364	33.0%
その他	30	2.7%
無回答	78	7.1%
無効回答	1	0.1%
計	1,102	100.0%

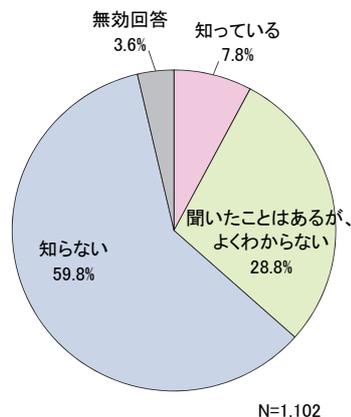


序章 はじめに  
 1章 登別市の概要及び現況と課題  
 2章 理念と目標  
 3章 全体構想  
 4章 地域別構想  
 5章 計画実現化に向けて  
 参考資料  
 用語解説

① 景観とみどりについて

問 17 あなたは登別市景観とみどりの条例をご存知ですか？

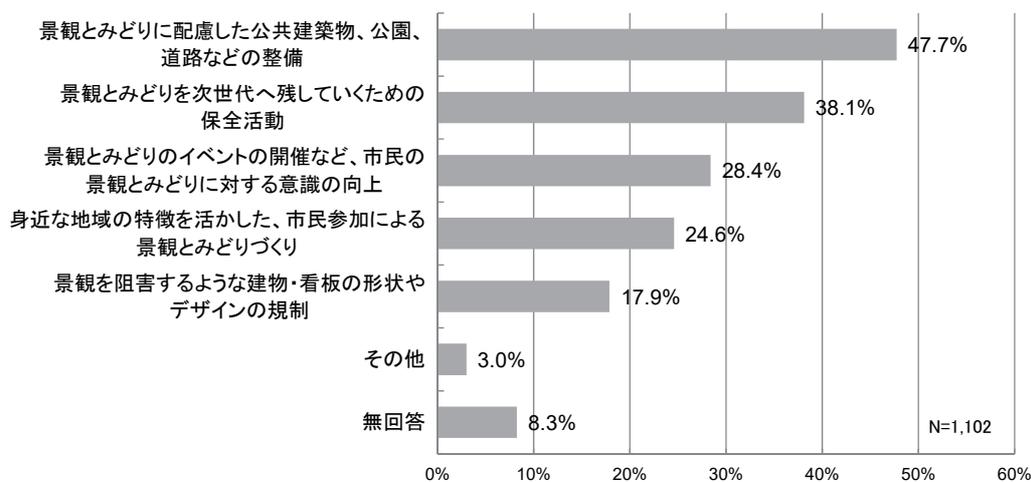
設 問	回答数	割合
知っている	86	7.8%
聞いたことはあるが、よくわからない	317	28.8%
知らない	659	59.8%
無効回答	40	3.6%
計	1,102	100.0%



問 18 魅力ある景観とみどりを守り向上していくため、あなたが必要だと思うことは何ですか？

設 問	回答数	割合
景観とみどりに配慮した公共建築物、公園、道路などの整備	526	47.7%
景観とみどりを次世代へ残していくための保全活動	420	38.1%
景観とみどりのイベントの開催など、市民の景観とみどりに対する意識の向上	313	28.4%
身近な地域の特徴を活かした、市民参加による景観とみどりづくり	271	24.6%
景観を阻害するような建物・看板の形状やデザインの規制	197	17.9%
その他	33	3.0%
無回答	91	8.3%
サンプル数	1,102	-

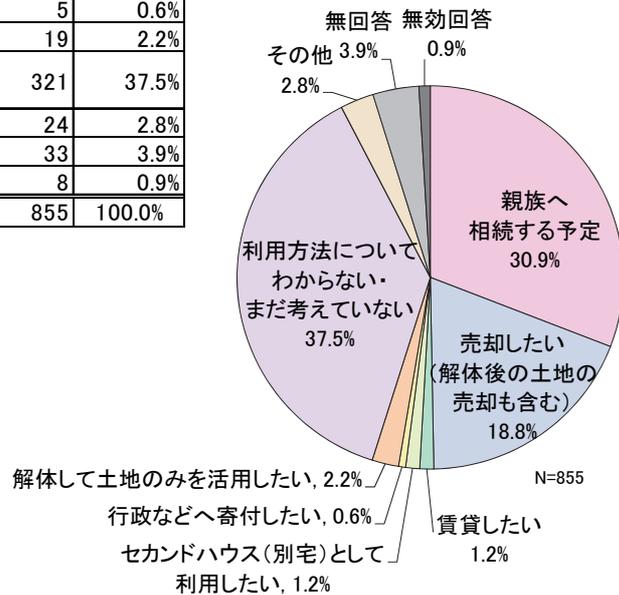
※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



② 空き家について

問 19 現在、登別市では、全国的な問題となっております「空き家」について対策を進めているところですが、まずは、市民の皆さまに意識していただけることが、「空き家」の発生を抑制することにつながるものと考えております。そこで、現在、持ち家にお住まいの方（問4で「持ち家」を選んだ方）にお尋ねします。現在の持ち家の今後の利用方法についてあなたはどのように考えておられますか？

設 問	回答数	割合
親族へ相続する予定	264	30.9%
売却したい(解体後の土地の売却も含む)	161	18.8%
賃貸したい	10	1.2%
セカンドハウス(別宅)として利用したい	10	1.2%
行政などへ寄付したい	5	0.6%
解体して土地のみを活用したい	19	2.2%
利用方法についてわからない・まだ考えていない	321	37.5%
その他	24	2.8%
無回答	33	3.9%
無効回答	8	0.9%
計	855	100.0%

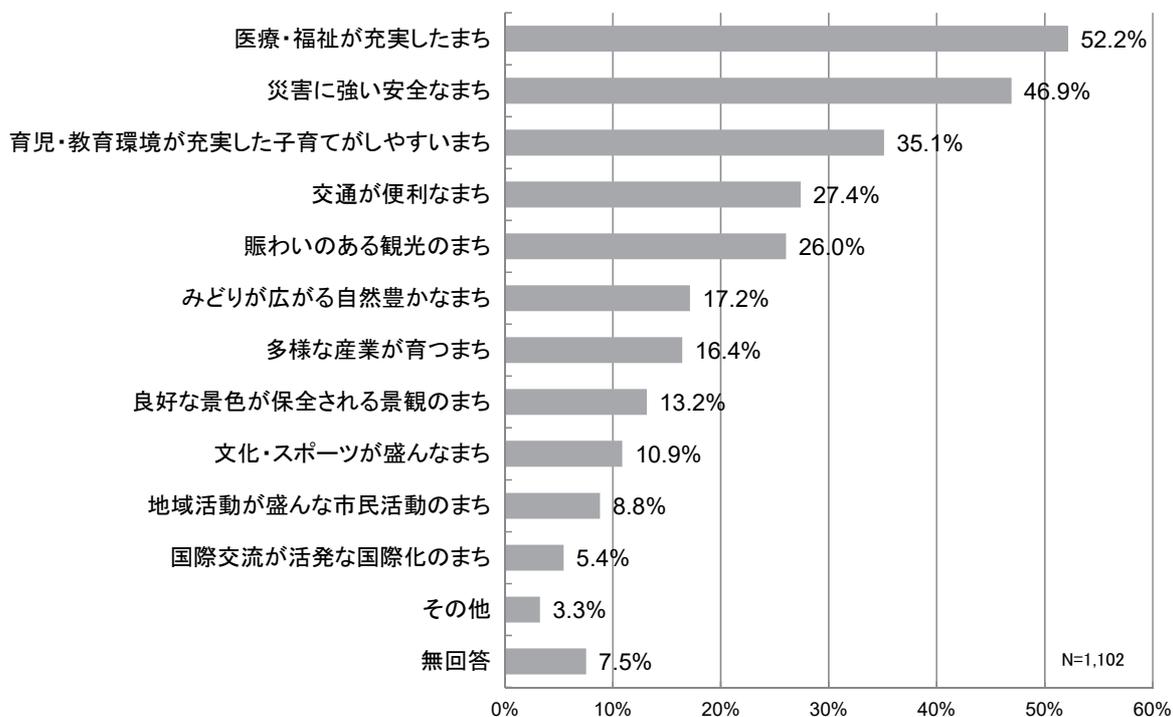


③ 登別市の将来像について

問 20 あなたの望む登別市の将来像は何ですか？

設 問	回答数	割合
医療・福祉が充実したまち	575	52.2%
災害に強い安全なまち	517	46.9%
育児・教育環境が充実した子育てがしやすいまち	387	35.1%
交通が便利なまち	302	27.4%
賑わいのある観光のまち	287	26.0%
みどりが広がる自然豊かなまち	189	17.2%
多様な産業が育つまち	181	16.4%
良好な景色が保全される景観のまち	145	13.2%
文化・スポーツが盛んなまち	120	10.9%
地域活動が盛んな市民活動のまち	97	8.8%
国際交流が活発な国際化のまち	60	5.4%
その他	36	3.3%
無回答	83	7.5%
サンプル数	1,102	-

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



序章  
はじめに  
1章 登別市の概要  
及び現況と課題  
2章 理念と目標  
3章 全体構想  
4章 地域別構想  
5章 計画実現化に向けて

参考資料

用語解説



## (2) 子どもアンケート

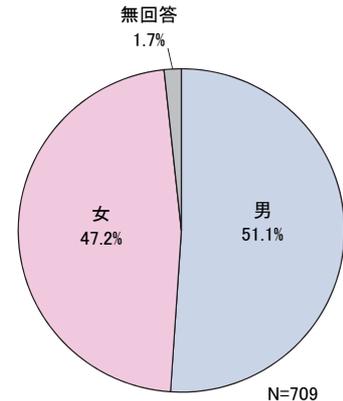
### 調査概要

調査対象	市内の小学5年生の全児童及び中学2年生の全生徒
配付数	738 票
回収数（回収率）	709 票（96.1%）
配付・回収方法	学校の授業で配付し、その場で回収。

<注意> 数値は表示単位未満を四捨五入して掲載しているため、合計値は必ずしも 100%とはなりません。

#### Q1 あなたの性別を教えてください。

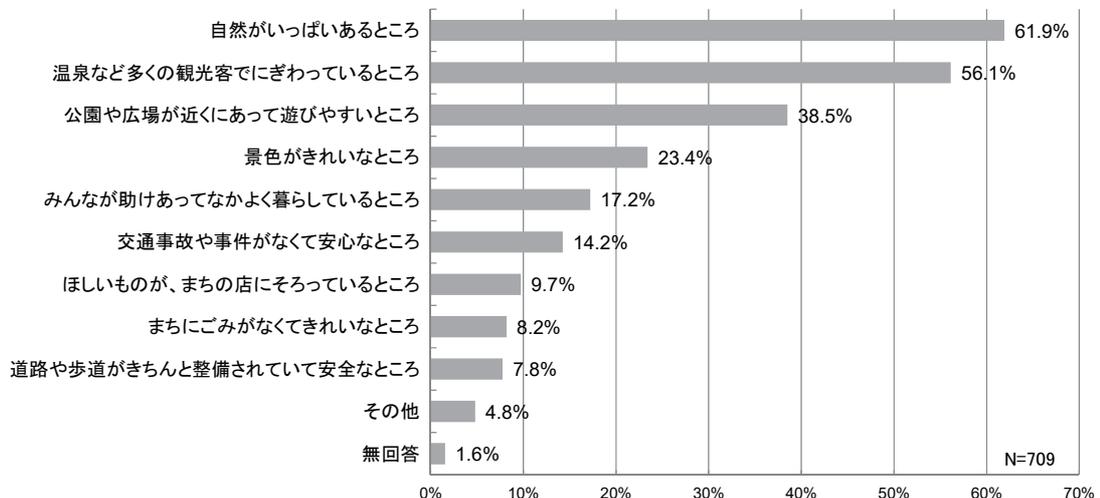
設 問	回答数	割合
男	362	51.1%
女	335	47.2%
無回答	12	1.7%
計	709	100.0%



#### Q2 あなたが思う登別市の良いところはなんですか。

設 問	回答数	割合
自然がいっぱいあるところ	439	61.9%
温泉など多くの観光客でにぎわっているところ	398	56.1%
公園や広場が近くにある遊びやすいところ	273	38.5%
景色がきれいなところ	166	23.4%
みんなが助けあってなかよく暮らしているところ	122	17.2%
交通事故や事件がなくて安心なところ	101	14.2%
ほしいものが、まちの店にそろっているところ	69	9.7%
まちにごみがなくてきれいなところ	58	8.2%
道路や歩道がきちんと整備されていて安全なところ	55	7.8%
その他	34	4.8%
無回答	11	1.6%
サンプル数	709	-

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



序章 はじめに

1章 登別市の概要及び現況と課題

2章 理念と目標

3章 全体構想

4章 地域別構想

5章 計画実現化に向けて

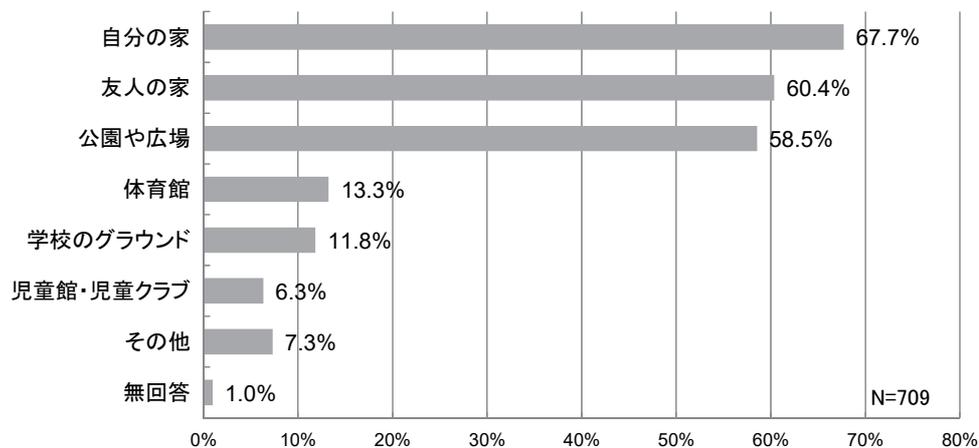
参考資料

用語解説

Q3 あなたがいつも遊ぶ場所はどこですか。

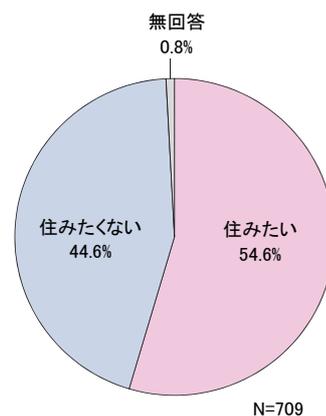
設問	回答数	割合
自分の家	480	67.7%
友人の家	428	60.4%
公園や広場	415	58.5%
体育館	94	13.3%
学校のグラウンド	84	11.8%
児童館・児童クラブ	45	6.3%
その他	52	7.3%
無回答	7	1.0%
サンプル数	709	-

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



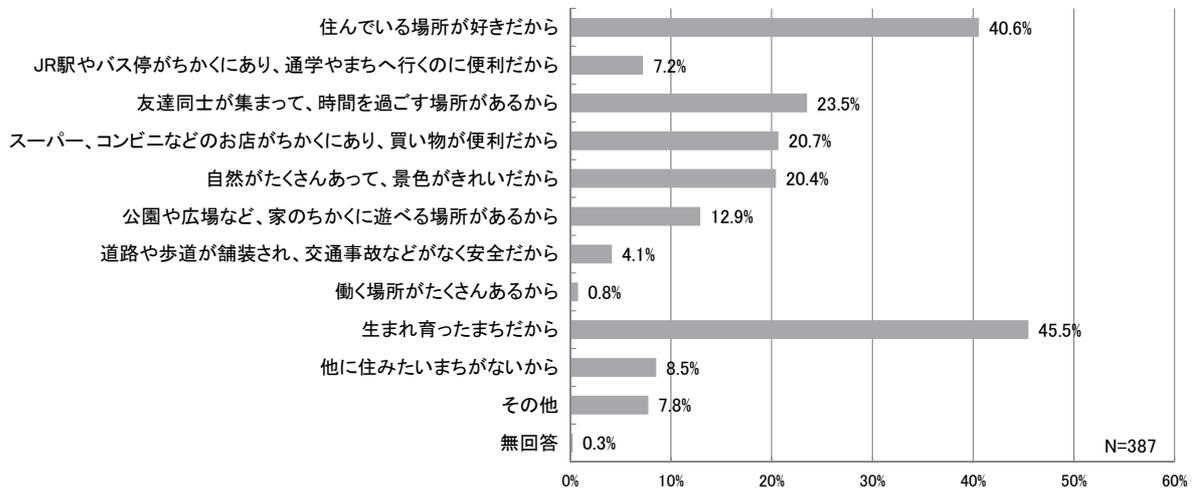
Q4 大人になっても登別市に住みたいと思いますか。

設問	回答数	割合
住みたい	387	54.6%
住みたくない	316	44.6%
無回答	6	0.8%
計	709	100.0%



Q5 Q4で「1. 住みたい」と答えた人にお聞きします。住みたいと思う理由はなんですか。

設 問	回答数	割合
住んでいる場所が好きだから	157	40.6%
JR駅やバス停がちかくにあり、通学やまちへ行くのに便利だから	28	7.2%
友達同士が集まって、時間を過ごす場所があるから	91	23.5%
スーパー、コンビニなどのお店がちかくにあり、買い物が便利だから	80	20.7%
自然がたくさんあって、景色がきれいだから	79	20.4%
公園や広場など、家のちかくに遊べる場所があるから	50	12.9%
道路や歩道が舗装され、交通事故などがなく安全だから	16	4.1%
働く場所がたくさんあるから	3	0.8%
生まれ育ったまちだから	176	45.5%
他に住みたいまちがないから	33	8.5%
その他	30	7.8%
無回答	1	0.3%
サンプル数	387	-



序章 はじめに

1章 登別市の概要及び現況と課題

2章 理念と目標

3章 全体構想

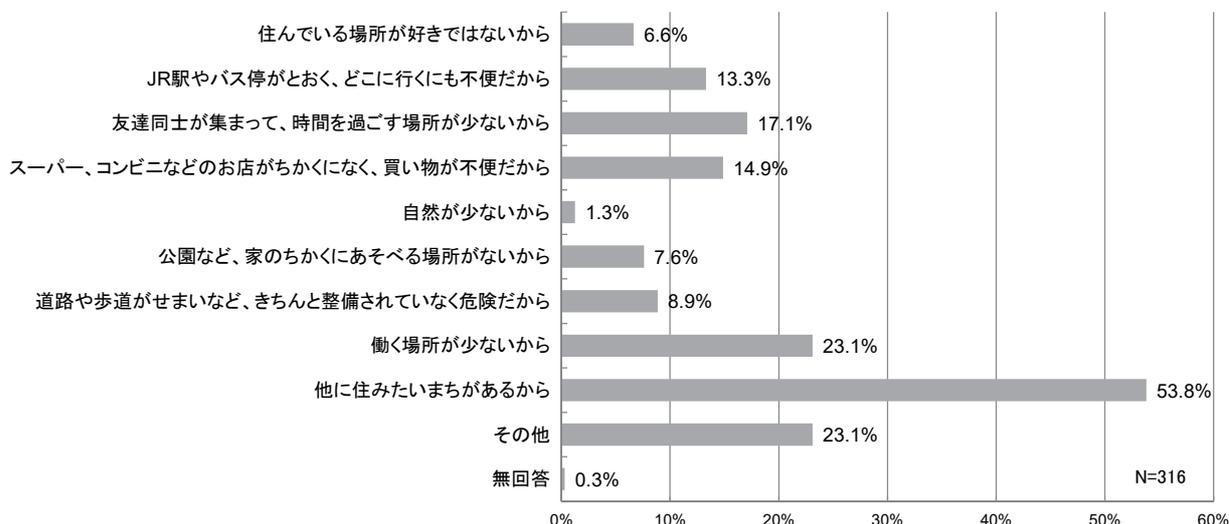
4章 地域別構想

5章 計画実現化に向けて

Q6 Q4で「2. 住みたくない」と答えた人にお聞きします。住みたくないと思う理由は何ですか。

設 問	回答数	割合
住んでいる場所が好きではないから	21	6.6%
JR駅やバス停がとおく、どこに行くにも不便だから	42	13.3%
友達同士が集まって、時間を過ごす場所が少ないから	54	17.1%
スーパー、コンビニなどのお店がちかかになく、買い物が不便だから	47	14.9%
自然が少ないから	4	1.3%
公園など、家のちかかにあそべる場所がないから	24	7.6%
道路や歩道がせまいなど、きちんと整備されていない危険だから	28	8.9%
働く場所が少ないから	73	23.1%
他に住みたいまちがあるから	170	53.8%
その他	73	23.1%
無回答	1	0.3%
サンプル数	316	-

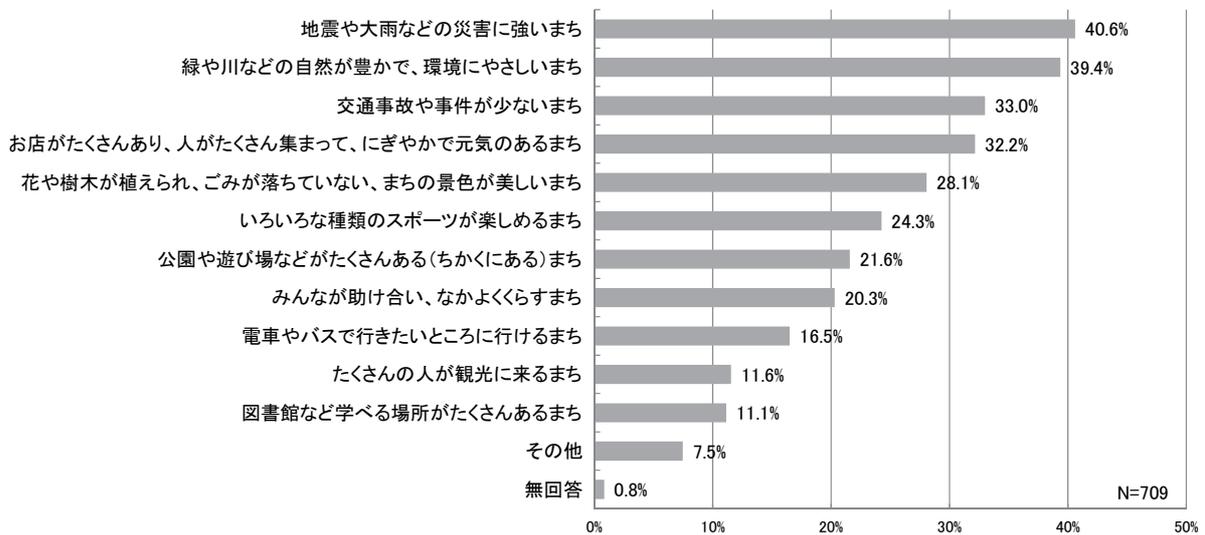
※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



Q7 これから登別市は、どのようなまちになってほしいと思いますか。

設 問	回答数	割合
地震や大雨などの災害に強いまち	288	40.6%
緑や川などの自然が豊かで、環境にやさしいまち	279	39.4%
交通事故や事件が少ないまち	234	33.0%
お店がたくさんあり、人がたくさん集まって、にぎやかで元気のあるまち	228	32.2%
花や樹木が植えられ、ごみが落ちていない、まちの景色が美しいまち	199	28.1%
いろいろな種類のスポーツが楽しめるまち	172	24.3%
公園や遊び場などがたくさんある(ちかくにある)まち	153	21.6%
みんなが助け合い、なかよくくらすまち	144	20.3%
電車やバスで行きたいところに行けるまち	117	16.5%
たくさんの人が観光に来るまち	82	11.6%
図書館など学べる場所がたくさんあるまち	79	11.1%
その他	53	7.5%
無回答	6	0.8%
サンプル数	709	-

※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



(3) 保護者アンケート

調査概要

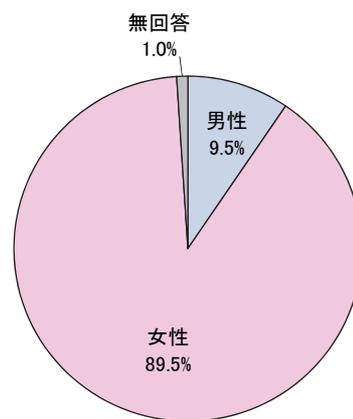
調査対象	「子どもアンケート」対象生徒の保護者
配付数	738 票
回収数（回収率）	389 票（52.7%）
配付・回収方法	子ども・学校を通して各家庭に配付・回収。

<注意> 数値は表示単位未満を四捨五入して掲載しているため、合計値は必ずしも 100%とはなりません。

(1) 回答者属性

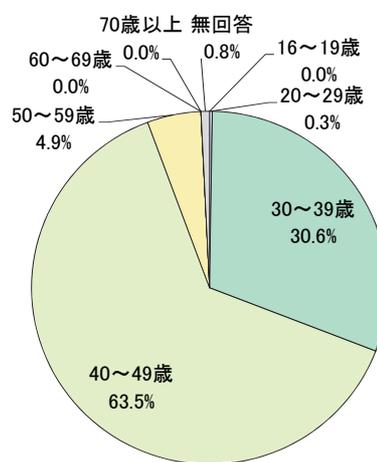
問 1 性別と年齢

設 問	回答数	割合
男性	37	9.5%
女性	348	89.5%
無回答	4	1.0%
計	389	100.0%



N=389

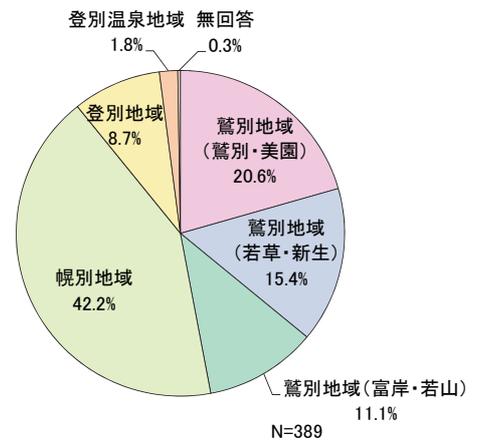
設 問	回答数	割合
16～19歳	0	0.0%
20～29歳	1	0.3%
30～39歳	119	30.6%
40～49歳	247	63.5%
50～59歳	19	4.9%
60～69歳	0	0.0%
70歳以上	0	0.0%
無回答	3	0.8%
計	389	100.0%



N=389

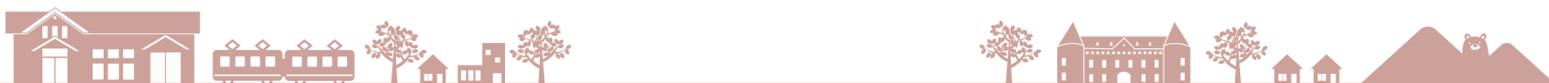
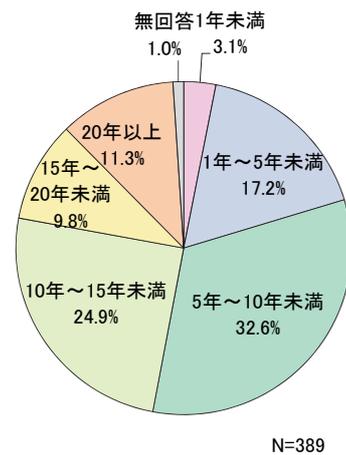
## 問2 居住地域

設問	回答数	割合
鷺別地域(鷺別・美園)	80	20.6%
鷺別地域(若草・新生)	60	15.4%
鷺別地域(富岸・若山)	43	11.1%
幌別地域	164	42.2%
登別地域	34	8.7%
登別温泉地域	7	1.8%
無回答	1	0.3%
計	389	100.0%



## 問3 現在の住まいの居住年数

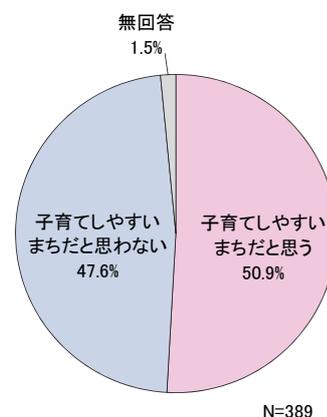
設問	回答数	割合
1年未満	12	3.1%
1年～5年未満	67	17.2%
5年～10年未満	127	32.6%
10年～15年未満	97	24.9%
15年～20年未満	38	9.8%
20年以上	44	11.3%
無回答	4	1.0%
計	389	100.0%



(2) 登別市における子育てについて

問4 登別市は子育てしやすいまちだと思いますか。

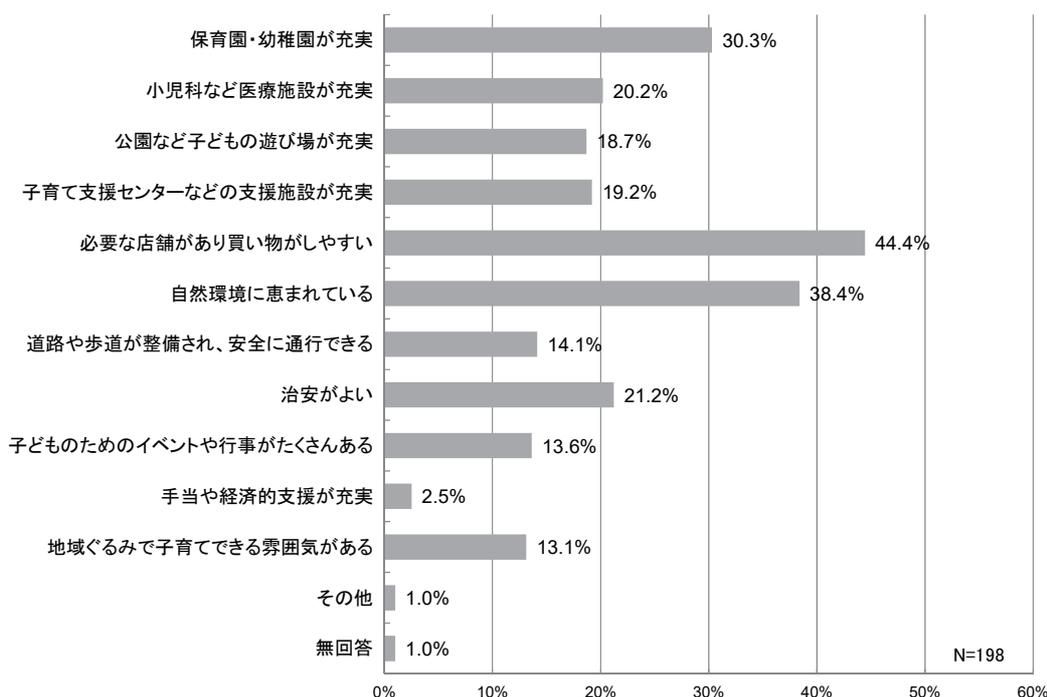
設 問	回答数	割合
子育てしやすいまちだと思う	198	50.9%
子育てしやすいまちだと思わない	185	47.6%
無回答	6	1.5%
計	389	100.0%



問5 問4で「子育てしやすいまちだと思う」と回答した方にお聞きします。子育てしやすいと思う理由は何ですか？

設 問	回答数	割合
保育園・幼稚園が充実	60	30.3%
小児科など医療施設が充実	40	20.2%
公園など子どもの遊び場が充実	37	18.7%
子育て支援センターなどの支援施設が充実	38	19.2%
必要な店舗があり買い物がしやすい	88	44.4%
自然環境に恵まれている	76	38.4%
道路や歩道が整備され、安全に通行できる	28	14.1%
治安がよい	42	21.2%
子どものためのイベントや行事がたくさんある	27	13.6%
手当や経済的支援が充実	5	2.5%
地域ぐるみで子育てできる雰囲気がある	26	13.1%
その他	2	1.0%
無回答	2	1.0%
サンプル数	198	-

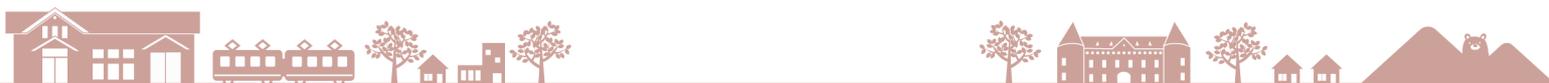
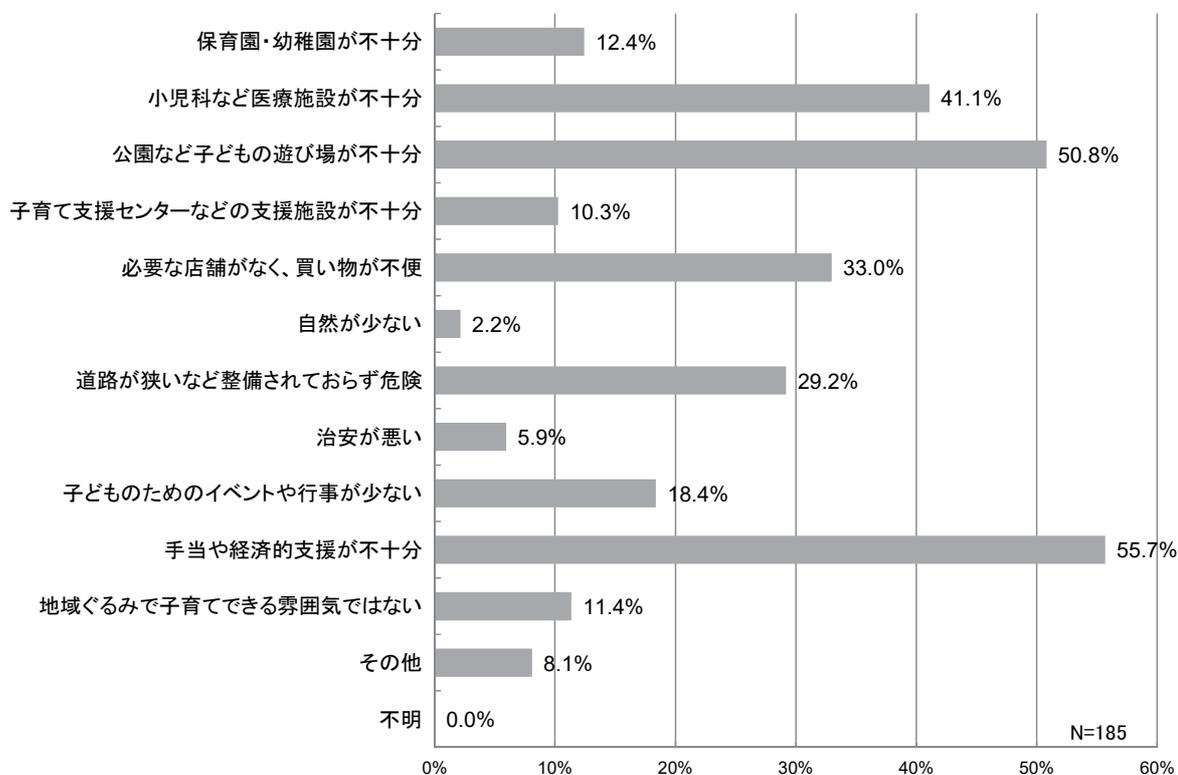
※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



問6 問4で「子育てしやすいまちだと思わない」と回答した方にお聞きします。子育てしにくいと思う理由は何ですか？

設問	回答数	割合
保育園・幼稚園が不十分	23	12.4%
小児科など医療施設が不十分	76	41.1%
公園など子どもの遊び場が不十分	94	50.8%
子育て支援センターなどの支援施設が不十分	19	10.3%
必要な店舗がなく、買い物が不便	61	33.0%
自然が少ない	4	2.2%
道路が狭いなど整備されておらず危険	54	29.2%
治安が悪い	11	5.9%
子どものためのイベントや行事が少ない	34	18.4%
手当や経済的支援が不十分	103	55.7%
地域ぐるみで子育てできる雰囲気ではない	21	11.4%
その他	15	8.1%
無回答	0	0.0%
サンプル数	185	-

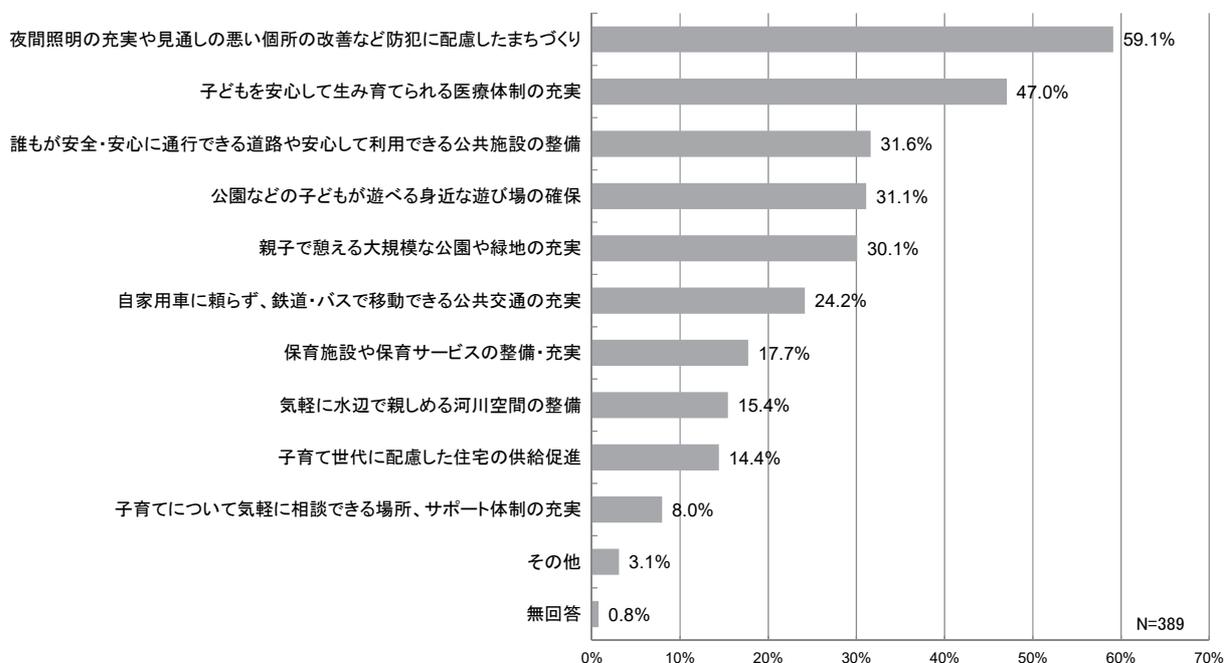
※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



問7 安全・安心に子育てできるまちづくりに向けて必要だと思う取り組みは何ですか。

設 問	回答数	割合
夜間照明の充実や見通しの悪い個所の改善など防犯に配慮したまちづくり	230	59.1%
子どもを安心して生み育てられる医療体制の充実	183	47.0%
誰もが安全・安心に通行できる道路や安心して利用できる公共施設の整備	123	31.6%
公園などの子どもが遊べる身近な遊び場の確保	121	31.1%
親子で憩える大規模な公園や緑地の充実	117	30.1%
自家用車に頼らず、鉄道・バスで移動できる公共交通の充実	94	24.2%
保育施設や保育サービスの整備・充実	69	17.7%
気軽に水辺で親しめる河川空間の整備	60	15.4%
子育て世代に配慮した住宅の供給促進	56	14.4%
子育てについて気軽に相談できる場所、サポート体制の充実	31	8.0%
その他	12	3.1%
無回答	3	0.8%
サンプル数	389	-

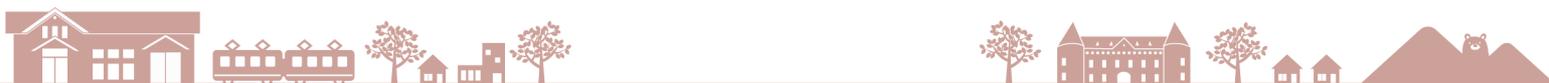
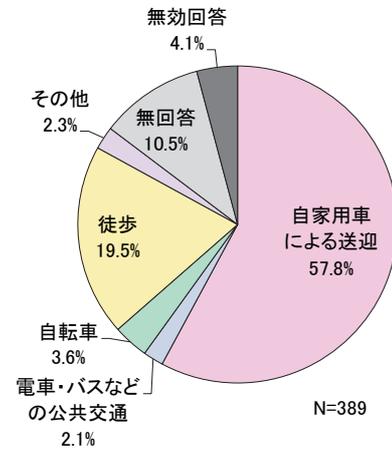
※複数回答のため回答数の合計値とサンプル数は一致しません。



(3) お子さんの送迎について

問8 現在、お子さんが習い事や部活などを行っている保護者の方にお聞きします。お子さんの主な移動手段は何ですか。

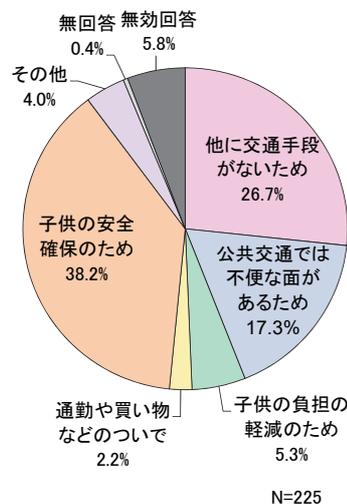
設 問	回答数	割合
自家用車による送迎	225	57.8%
電車・バスなどの公共交通	8	2.1%
自転車	14	3.6%
徒歩	76	19.5%
その他	9	2.3%
無回答	41	10.5%
無効回答	16	4.1%
計	389	100.0%



問9 問8で「自家用車による送迎」と回答した方にお聞きします。

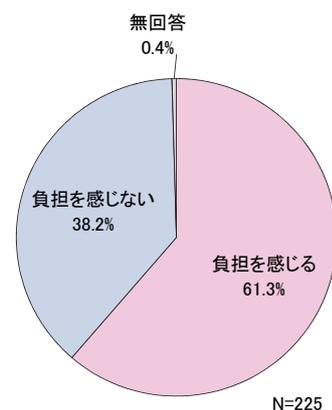
①自家用車で送迎を行う理由は何ですか。

設 問	回答数	割合
他に交通手段がないため	60	26.7%
公共交通では不便な面があるため	39	17.3%
子供の負担の軽減のため	12	5.3%
通勤や買い物などのついで	5	2.2%
子供の安全確保のため	86	38.2%
その他	9	4.0%
無回答	1	0.4%
無効回答	13	5.8%
計	225	100.0%



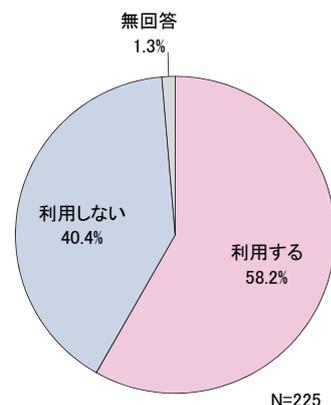
②自家用車による送迎で時間的・経済的な負担を感じますか。

設 問	回答数	割合
負担を感じる	138	61.3%
負担を感じない	86	38.2%
無回答	1	0.4%
計	225	100.0%



③例えば、電車やバスの時間帯、駅または停留所などの条件が、習い事や部活などに対して整った場合、公共交通を利用されますか。

設 問	回答数	割合
利用する	131	58.2%
利用しない	91	40.4%
無回答	3	1.3%
計	225	100.0%



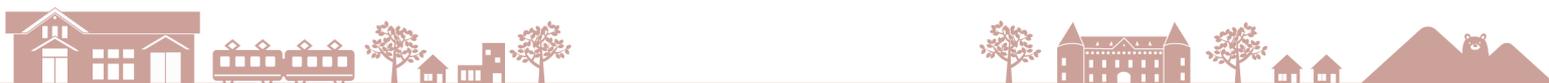
## (4) 団体ヒアリング

登別市都市計画マスタープランの見直しに向けて、現在の暮らしやまちづくりについて感じる現状と課題、登別市のポテンシャルや次世代の登別に向けて目指すべきまちの将来像や今後予定する取組について把握するため、市内の各団体から意見聴取を行いました。

回答のうち、「今後さらに本格化する人口減少・少子高齢社会の中で、実施すべき（実施していきたい）まちづくりのテーマと、その具体的な内容・アイデア」を次のとおり抜粋して示します。

### (1) 登別商工会議所

<b>【実施すべきまちづくりのテーマと、その具体的な内容・アイデア】</b>
<p><b>[1] 観光客の回遊</b> 個人観光客（特にインバウンド）の市内回遊（まちなか随所に観光施設等への案内図設置、サイクルロード整備、新たな観光スポットの開発（漁火・星空・川遊び等））</p>
<p><b>[2] スマートシティ及びコンパクトシティの実現に向けた取組み</b> 国土交通省都市局が昨年8月に公表したスマートシティ実現に向けての中間取りまとめを踏まえて地方都市における市民生活の利便性確保や、観光拠点の魅力向上や安全・安心の確保など様々な課題について、官民が連携して日々進化を続けているICTなどの技術を活用したスマートシティの構築を目指す。 また、AIやIoTなどを活用して生活インフラの運用や管理、不具合の監視など自動化を進めるとともに、防災や復旧、避難誘導や治安維持などに活用する。 一方でコンパクトシティの実現に向けて中心市街地を設定し、居住地区、商業地区の整備及び集約を図る。 JR登別駅前や、JR幌別駅周辺の土地高度利用促進を図る。</p>
<p><b>[3] 次世代交通システムの活用に向けた取組み</b> 将来可能となることが予測される自動運転技術を使用したBRTやLRTについて、実証実験を行う特区制度等を活用した環境整備。（JR駅ホームへの乗入れによる利便性の向上） 狭あいな登別温泉地区の土地活用、繁忙期の交通渋滞解消や自然環境の保護を目的に車両の乗入れ制限。（テーマパーク駐車場等の活用）</p>
<p><b>[4] 登別市観光のブランディング</b> 観光産業で生き残っていくためには、観光地として目指す形（明確なビジョン）を共有し、観光地ブランディングが重要。</p>
<p><b>[5] 戦略的かつ大胆な企業誘致</b> 単に税収を目指した企業誘致ではなく、「雇用を増やす」や「住民を増やす」などの特定の目的に特化し、税の減免措置や市有地の提供などによるインセンティブで企業誘致をする。</p>



## (2) 登別国際観光コンベンション協会

## 【実施すべきまちづくりのテーマと、その具体的な内容・アイデア】

## [1] 公共交通の充実

年間400万人の観光客は、1日あたり11,000人の人口が登別市に滞在していることになる。この消費活動を市内各地に波及させるためには、地域間を繋ぐ巡回バスの運行が欠かせない。

幌別地区などで頑張っている商店や飲食店等を消滅させないためにも必要な事業であり、例えば入浴券付きのワンデイ・パスを発行して市民や観光客が1日中どの路線でも乗り放題にする。併せて地域の商店街等を記した外国人にも見やすい乗り継ぎマップを作成しパス購入時に配布するなどの工夫が必要。

実態としてレンタカーで来泉した外国人が幌別地区の飲食店やアークスを利用している。

## (3) 登別市連合町内会

## 【実施すべきまちづくりのテーマと、その具体的な内容・アイデア】

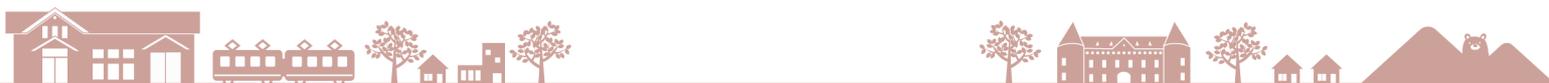
## [1] 市内に花いっぱい推進会議の設置

市連合町内会では、町内会の花壇や市民憲章推進花壇（市内3か所）や中登別町（2か所）の花壇の花いっぱい活動をしています。全市的な活動（学校・職場など）を展開していくために推進会議を設置していくことが必要と思います。

## [2] 市内の空き家を利活用しての、移住・定住の促進

市内・市外の宅建業者との連携により、登別の自然の素晴らしさと温泉で「癒し」のできる魅力あるマチを大いにアピールして促進に力を入れていただきたい。





## 用語解説

## あ

## ●案内サイン

地区や建物の所在や位置関係を表すもので、地図がこれに相当する。

## ●インバウンド

外国人が日本を訪れる旅行のこと（訪日外国人旅行）。

## ●沿道型サービス地区

幹線道路の沿道にふさわしい土地利用を図るため立地できる施設を制限し、主に沿道サービス関連施設（道路管理施設、休憩所又は給油所等）が立地する地区。

## か

## ●海洋性レクリエーション

ヨット、ボートなどにより水に親しみ、豊かな自然とのふれあいに興ずるレクリエーション。

## ●管渠

給排水を目的とした、管を用いた円筒形の水路。

## ●狭あい道路

主に幅員が4メートル未満の道路で、一般交通の用に供される道路。

## ●グループホーム

認知症と診断された高齢者や障がい者などが、入浴や食事などの援助を受けながら共同で生活できる施設。

## ●公共公益施設

公共施設と公益的施設を合わせた名称であり、公共施設は道路、公園、広場その他政令で定める公共の用に供する施設、公益的施設は教育施設、医療施設、官公庁施設、購買施設その他の施設で、地域住民の共同の福祉または利便のため必要な施設を指す。

## ●公共水域

水質汚濁防止法により定義される、川や海といった公共の用に供される水域とこれに接続する水路等を指す。

## ●交通結節点機能

鉄道駅やバスターミナルといった交通機関が集積する場所において、交通機関相互の乗り換え・乗り継ぎといった接続機能を指す。

## ●国民保養温泉地

温泉の公共的利用増進のため、「温泉法」に基づき環境大臣が指定した、温泉利用の効果が十分期待され、かつ、健全な保養地として活用される温泉地。

## ●コミュニティ

人々が共同体意識を持って生活を営む、一定の地域やその人々の集団。

## さ

## ●サービス付き高齢者向け住宅

高齢者の居住の安定を確保することを目的として、バリアフリー構造等を有し、介護・医療と連携し高齢者を支援する施設。

## ●再生可能エネルギー

油、石炭、天然ガスといった有限な資源である化石エネルギーとは違い、太陽光、風力、水力といった永続的な利用が可能と考えられるエネルギー。

## ●サテライトオフィス

企業または団体の本拠地から離れた場所に設置する小規模なオフィスを指す。サテライトとは英語の「satellite（衛星）」という意味で、本拠地を中心として衛星のように設置されることから命名された。



## ●市街化区域

都市計画区域のうち、すでに市街地を形成している区域、またはおおむね10年以内に優先的に市街化を図るべき区域。

## ●市街化調整区域

都市計画区域のうち、市街化を抑制すべき区域。

## ●市街地の低密度化

主に人口減少に伴い、市街地の人口密度や土地利用密度が低下する現象。

## ●持続可能なまちづくり

将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現在の世代の要求を満たすまちづくりを指す。

## ●住宅セーフティネット

住宅市場の中で、独力では住宅を確保することが困難な方々が、それぞれの所得、家族構成、身体状況等に適した住宅を確保できるようにさまざまな仕組み。

## ●循環型社会

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わるものとして提示された概念であり、循環型社会形成推進基本法では、まず製品等が廃棄物等となることを抑制し、次に排出された廃棄物等についてはできるだけ資源として適正に利用し、最後にどうしても利用できないものは適正に処分することが確保されることにより実現される、「天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会」と定義される。

## ●情報通信技術

情報通信技術（ICT：Information and Communication Technology の略）とは、通信技術を活用し、人とインターネット、人と人を繋げるコミュニケーション技術の総称であり、さまざまなサービスに利用されている。例えば、公共交通では、近年、情報通信技術を活用し、公共交通の運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段を1つのサービスとして捉え、移動することができる概念であるMaaS（マース：Mobility as a Service の略）という交通サービスの提供などが行われている。

## た

## ●多核連携都市構造

地域の中心として維持・充実させる複数の拠点を設定し、その拠点間の道路・公共交通ネットワークの連携を図ることで、人口減少・高齢化が進む中でも都市機能を維持・強化することをねらった都市構成。

## ●地域コミュニティ施設

自治会や町内会といった、地域におけるさまざまな住民同士の集まりや活動（地域コミュニティ）の拠点となる施設。

## ●地域地区

土地利用に関し、一定の規制等を適用する区域として指定された、地域、地区または街区。指定する地域地区の種類に応じ、建築物の用途や高さ等について制限を定める。

## ●地区計画

一定の区域について、土地や建物の利用目的、形状などを規制・誘導する、都市計画法に基づく制度の一つ。

## ●長期未着手道路

都市計画道路として都市計画決定されてから、整備が未着手のまま長期間が経過した路線。

## ●低未利用土地等

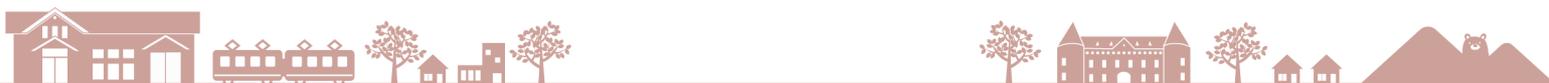
空き地・空き家・空き店舗等のように、長期間にわたり適切な用途で利用されていない、または周辺地域の利用状況に比べて利用が著しく低い土地等を指す。

## ●特別用途地区

一定の地区の特性にふさわしい土地利用の増進、環境の保護等の特別の目的の実現を図るため、地方公共団体が条例で定める用途地域を補完する地区であり、建築制限の強化や緩和を行うことができる。

## ●都市機能

医療、福祉、子育て支援、教育文化、商業など、都市の生活を支える機能を指す。



## ●都市計画

都市計画法に基づき定められる、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画等を指す。

## ●都市計画区域

都市計画法に基づき都道府県知事が指定する、市街地とその周辺地域を一つのまとまった都市として総合的に整備、開発及び保全をしていく必要がある区域。

## ●都市計画道路

都市交通における最も基幹的な都市施設として都市計画法に基づき都市計画決定された、都市計画と一体となって整備される道路。

## ●都市施設

都市計画法に基づき定められる、道路、公園、水道や下水道、学校、病院といった都市において必要な公共的な施設。

## ●土地区画整理事業

道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業。

## ●土地利用

都市計画区域内の土地について適正かつ合理的な利用を推進するため、用途地域などを都市の将来の動向を勘案して定め、健全な市街地への誘導、形成を図ることを目的とした、都市計画の根幹をなすもの。

は

## ●バスロケーションシステム

GPS や無線通信技術を用いて、バスの位置情報や遅延状況等を、バス停表示板やWEB画面に情報提供するシステム。

## ●バリアフリー化

すべての人が普通に暮らすことができるように、建物や道路などにおいて、身体的、精神的な障壁（バリア）を取り除くこと。

## ●BRT・LRT

BRT（Bus Rapid Transit の略）とは、バス専用道路、バスレーン等により、レール等を用いた軌道系交通と比較しても遜色のない機能を有し、かつ柔軟性を兼ね備えたバスをベースとした都市交通システム。

LRT（Light Rail Transit の略）とは、軽量軌道システムや高度化路面電車（超低床、ICカード等）による次世代型路面電車システム。

## ●ピクトグラム

不特定多数の人々が利用する公共交通機関や公共施設、観光施設等において、文字・言語によらず対象物、概念または状態に関する情報を提供する図形。

## ●防火地域・準防火地域

都市計画法に基づき定められる、市街地における火災の危険を防除する地域で、建築物を耐火建築物・準耐火建築物・その他の建築物に区分し、防火のための建築物の階数と規模に応じて制限が加えられる。

## ●ホスピタリティ

訪問者を丁重にもてなす気持ちや行動。

ま

## ●モビリティマネジメント

一人ひとりのモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策。

## ●未利用地

空き地のように、長期間にわたり適切な用途で利用されていない土地を指す。

や

## ●ユニバーサルデザイン化

文化、言語、国籍、年齢、性別、能力などの違いに関わらず、すべての人が利用可能にすることを旨とする。



### ●用途地域

適正な都市としての機能と良好な環境を有する市街地の形成を図るため、建築物の用途や形態などの規制・誘導を行う、都市計画法に基づく制度の一つ。

ら

### ●流通業務施設

トラックターミナル、卸売市場、倉庫又は上屋を指す。

わ

### ●ワーケーション

ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語であり、長期滞在先でパソコンなどを使って仕事をすることを指す。

序章

はじめに

1章  
及  
び  
現  
況  
と  
課  
題  
登別市の概要

2章  
理  
念  
と  
目  
標

3章  
全  
体  
構  
想

4章  
地  
域  
別  
構  
想

5章  
計  
画  
実  
現  
化  
に  
向  
け  
て

参  
考  
資  
料

用  
語  
解  
説





## 登別市都市計画マスタープラン

令和4年（2022年）3月

発行：登別市

編集：登別市 都市整備部 都市政策グループ

登別市中央町6丁目11番地